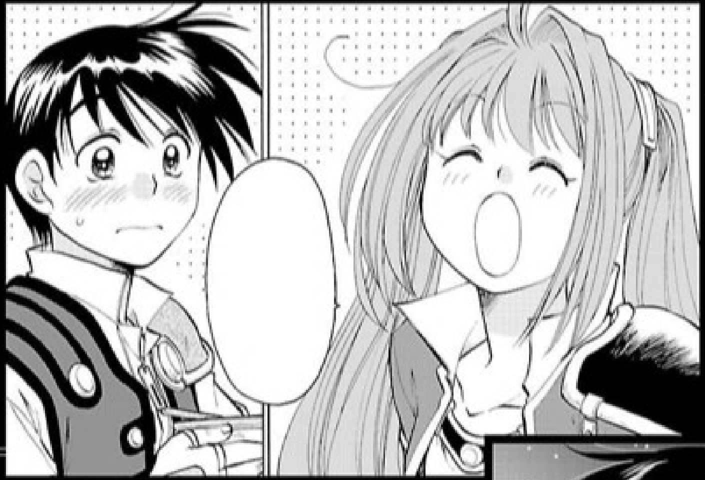
英雄伝説
THE LEGEND OF HEROES
空の
TRAILS IN THE SKY
軌跡
SECOND CHAPTER
SC
漫画 啄木鳥しんき
Kitsutsuki Shinki
原作 日本ファルコム
Nihon Falcom Corp.

英雄伝説
THE LEGEND OF HEROES
空の
TRAILS IN THE SKY
軌跡
SECOND CHAPTER
SC

［英雄伝説 空の軌跡］これまでのあらすじ

『英雄伝説 空の軌跡』①～⑥（発行：バンダイビジュアル／発売KADOKAWA）より



ゼムリア大陸の小国・リベール王国。
エステルとヨシュアは、姉弟同然に育てられ、いつしか地域の平和と安全を護る遊撃士（ブレイサー）を志すようになる。幾多の冒険とさまざまな人々との出会いが、やがてふたりを大きく成長させていった。

ヨシュアに対して、弟として接していたエステルであったが、ふたりで旅を続ける中で、ヨシュアへの恋心を自覚する。事件が一段落したら、ヨシュアは自らの過去をエステルに話し、エステルはヨシュアに告げたいことがあると約束する。

こうして王国を揺るがした、リベール王国軍情報部リシャール大佐によるクーデター事件は、ふたりの活躍もあり、未然に防がれた。

英雄伝説
THE LEGEND OF HEROES
空の軌跡
TRAILS IN THE SKY
SECOND CHAPTER
SC

漫画 啄木鳥しんき
Kitsutsuki Shinki
原作 日本ファルコム
Nihon Falcom Corp.

英雄伝説
THE LEGEND OF HEROES
空の軌跡
TRAILS IN THE SKY
SECOND CHAPTER

目次

第1話
第2話
第3話
第4話
第5話
第6話
あとがき
電子版オマケ

王国内外で起こった、このクーデターに至るまでの一連の事件にはすべて、ある組織が関与していたことが明らかとなっていった。

結社《身喰らう蛇》。

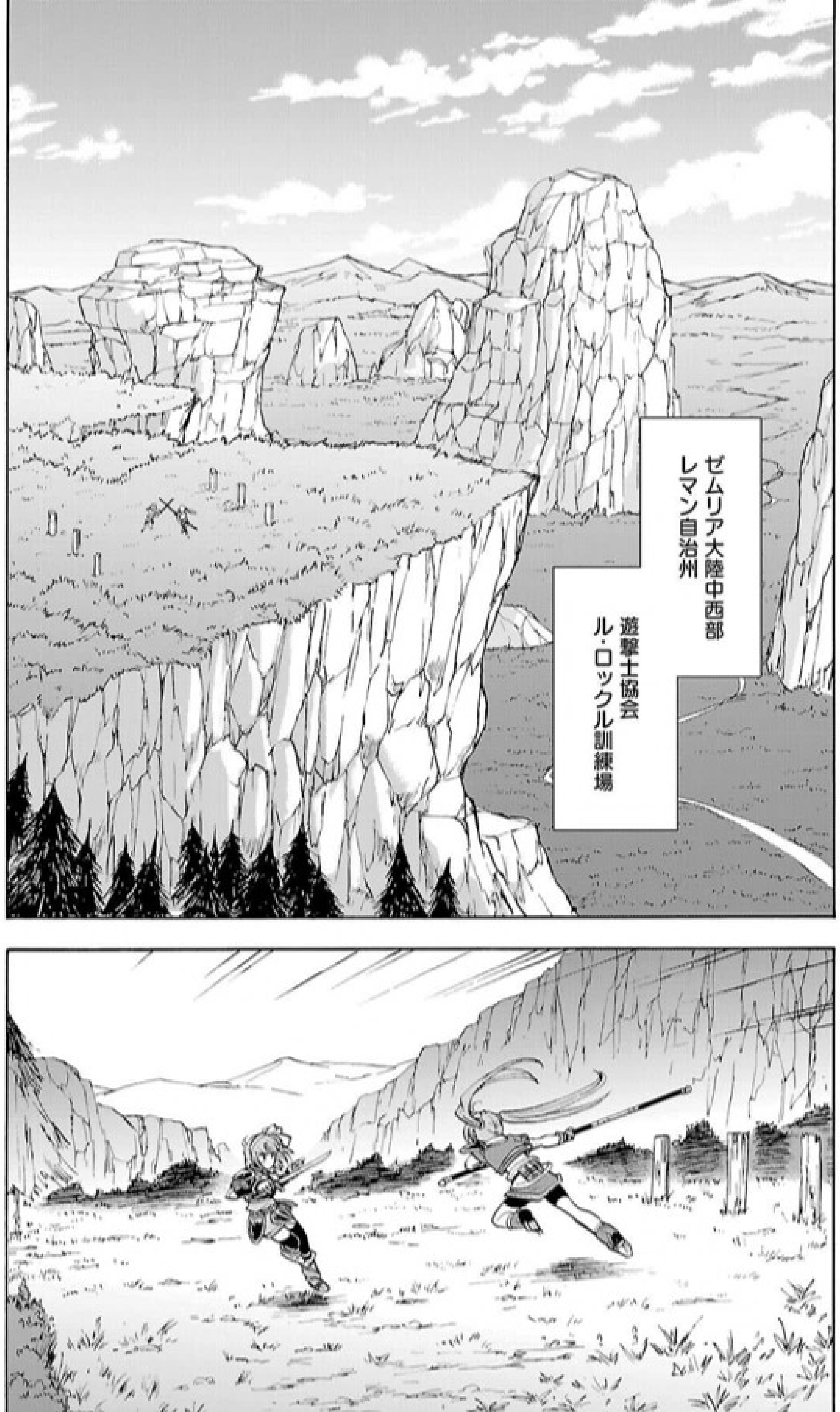
そう呼ばれる組織はかつて、エステルの父であり、王国軍随一の剣の使い手にして、指揮官でもある《剣聖》カシウス・ブライトの暗殺を企てたが、失敗。その暗殺者としてカシウスに迫ったのがヨシュアだったのだ。

ブライト家に養子として迎えられたヨシュアは、そこでエステルと出会い、少しずつ心を取り戻していった。

だが、結社はヨシュアにある暗示を施していた。

自らの意志とは無関係に、カシウスの情報を結社にリークし続けていた事実を知ったヨシュアは、エステルの前から忽然と姿を消した。

時は七耀暦1202年。
運命を歯車とした物語は、
再び動きはじめる――


ゼムリア大陸中西部
レマン自治州
遊撃士協会
ル・ロックル訓練場

はあーっ!!
ガギイン!
まだ浅いか…っ
なかなかやるね
エステルちゃん!

でも
この辺で
一気に
決めるよっ!!
ぐっ
もらった
わよ!!
あれっ!?
アネラスさんっ!!
そこまで!!

今の切り返しは良かったよ エステル君
アネラス君は… 少し勝ちに急ぎ過ぎたかな？
よし！
今日の地稽古はこのくらいにしておこう！
ふたりとも この数週間で見違える程に腕を上げたね
基礎的な戦闘能力の底上げに関してはほぼ仕上がったと見ていいだろう
それじゃあ
いよいよ!?
はぁぁぁぁ～
やった～!!
きゃああ
だがまだ慢心してもらっては困るよ？

我々「遊撃士」は
地域の平和と民間人の安全を守るのが仕事だ
そのために敵と戦う力を身に付けるのは言うに及ばず
事象を分析する知識や真意を見抜く直感など多様な能力を磨くのもまた大切なことなんだ
何事にも必ずそれが生じた原因がある
ただ武器を振るうだけではなく
そういった根っこの部分を探しあてることで見えてくる解決方法もあるのだからね
はい!! クルツさん!!
今後もご指導お願いします!!
その意気だ

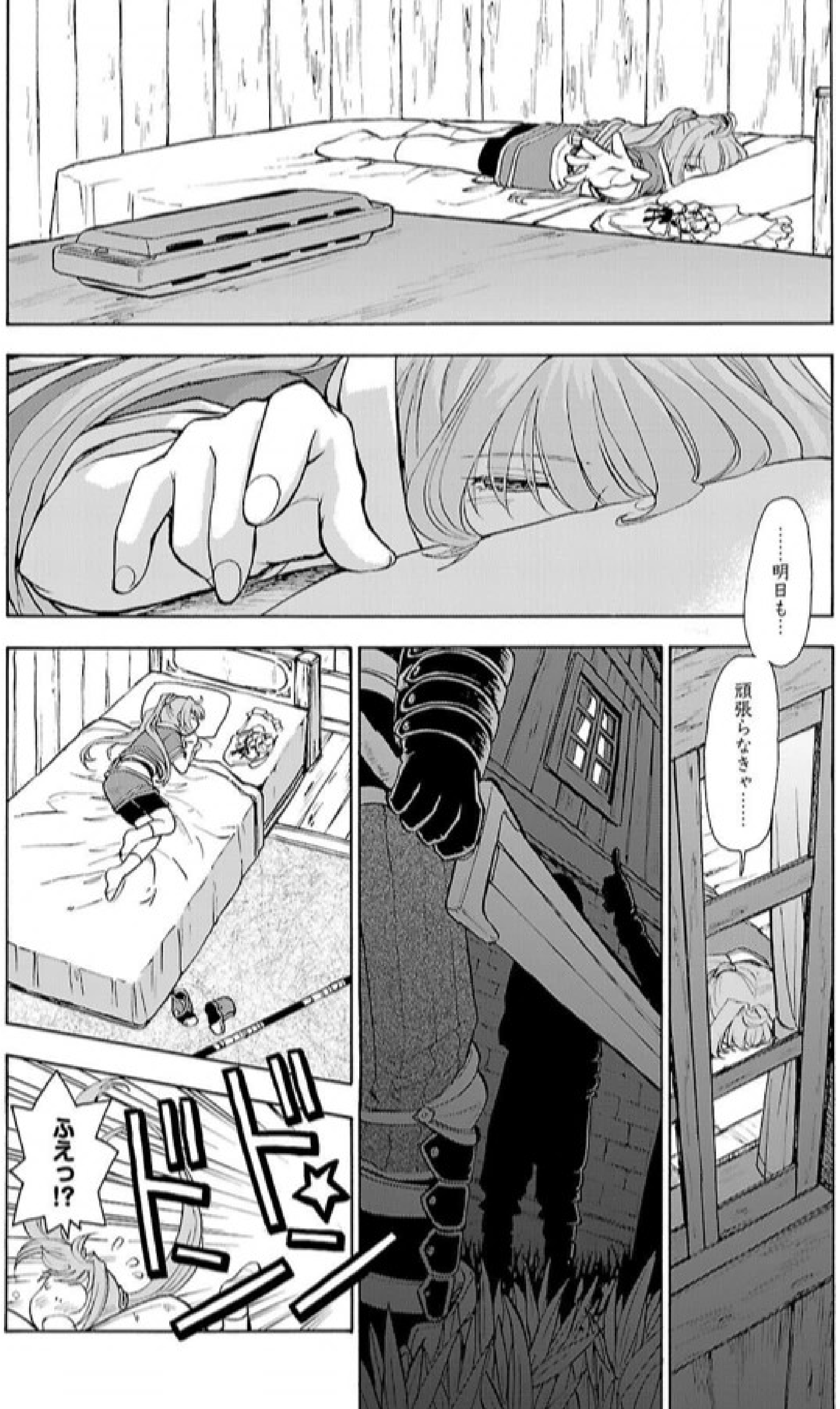
では
次はその辺りを強化する演習を試してみよう
へ
この先の小要塞に仕掛けを山程仕込んでおいたからね
げ
さあ！張り切っていってみようか！
ええ～！
良かったわねぇ
ふたりとも無事に帰国できそうで
だけど管理人さん
そのせいか訓練内容が一段とハードになっちゃって…
それだけ期待してるってことでしょう？
このままじゃ帰る前にしんじゃう……

聞いてるわよ
リベール王国で起きたクーデター事件を阻止する原動力となったのは
若き遊撃士たちのあきらめない気持ちだったって！
その当人たちが厳しい訓練を終えてパワーアップして帰ってくるんだから
リベール王国の遊撃士協会はもうこわいものなしね
えへへ～
それに比べて心配なのは
エレボニア帝国の遊撃士協会だわ…
帝国で何かあったんですか？
あなたたちの王国が大変だった頃にね
帝国では遊撃士を標的にした大規模な襲撃事件が起こっていたの

その襲撃で帝国全土にあった遊撃士協会支部が
ほぼ…壊滅してしまったの…
壊滅って…
一体誰が!?
「ジェスター猟兵団」という猟兵の仕業だったんですって
猟兵団？
確か…高ランクの傭兵部隊だけが名乗れる称号でしたよね？
戦闘を生業とする傭兵の中でもかなり過激な武装集団よ
遊撃士協会とは相容れない部分が多くて昔から対立関係ではあったのだけれど…

でもまさか猟兵団の方から
遊撃士協会に襲い掛かってくるなんて
リベールとエレボニア…
なんだか嫌な事件が重なったわね
もうこれ以上
悪いことが起こらなければいいのだけれど
じゃあまた明日ね
うんおやすみアネラスさん
は――……
ふらっ

……
あー……
だめだめ……
ちゃんと
パジャマに
着替えなきゃ……
もそ
もそ
…壊滅かぁ…
……
リベールは
大丈夫かな
……
あれから
もう2ヶ月


……明日も……
頑張らなきゃ……
ドド
ふえっ!?

エステルちゃん!?
開けるよ!?
アネラスさん!?
急いで一階に下りてきて!!
何者かがこの宿舎を襲撃してきたみたいなの!!
今クルツ先輩が応戦してる!!
私たちも援護しなきゃ
きゃあぁ!!
フィリスさんは二階へ避難を!!
クルツ先輩!
その腕…!?
ただのカスリ傷だ!!
ふたりとも敵の迎撃に協力してくれ!!
はいっ!
先輩に手傷を負わせるなんて…
誰が襲ってきたんですか!?
あの格好はおそらく
猟兵の一派だろう!
猟兵!?
まさか!!
いやここは遊撃士協会直轄の訓練施設だ!
帝国での件もある
彼らの標的になったとしても不自然ではない
皆
気を付けて…

しまった!! 窓から…
ふははは!!
覚悟しな 遊撃士さんよぉ!!
ガッ

何勝手に 入ってきてんのよっ!!
ドドド
いい反応してるじゃねーか!
あっ!
ターンッ

あばよ！遊撃士のお嬢ちゃん！
くやしかったら追ってきな!!
こいつ…！
エステルちゃん!?
クルツさんの傷の手当てをお願い!!
その間はあたしが食い止めるから!!
ちょ…待って!? エステルちゃーん!!
ダッ
なんでこんな訓練場にまで猟兵が…
しかも話を聞いたその夜に襲ってくるなんて
タイミングが良過ぎでしょーが！
こっちも色々と忙しくてな
しっかしマジで挑発にのってくるとは…
まだまだ修行が足りないんじゃねーか？
おあいにくさま！これでも戦闘能力は教官のお墨付きが出てるんだから！
へぇ！そいつはすげーや！
…だがな

状況判断を誤ると
こういう痛い目にあうんだよ
ドン
ドサ…
…さて
最後の仕上げといこうかね
……
……は…
あたし…
無事…
みんなは…!?
無事なの!?

み……
……
この槍…
クルッさんの…
あたしが ひとりで 突っ走ったから
あたしのせいだ!
みんなが…!
どうしよう!
あたし…
どうしたら いいの…!?
エステル
ちょっと 落ち着こう
確かに
とても 重大な案件では あるけれど

だからこそ
いつものように
……
えっと…
ま…まずは…
現場調査…
…そうよ
手掛かりを見付けなきゃ!

壊れてたのは破られた窓と外部連絡用の通信器だけ
あの血は激戦を連想させるけど…でもそんな形跡は見あたらない…
これまでも人質を連れた犯人は
あまり遠くへ行かずに一箇所に拠点を構えることが多かったわ
…戦った後がないのは
みんなは猟兵に連れていかれたってことかしら…
この近くでそんな場所があるとしたら
ここ
グリムゼル小要塞しかないと思うのだけど…
やっぱりいたーっ
エステルちゃーん!!

アネラスさんっ!!
がはっ
良かった!!
猟兵にやられちゃったかもって心配してたんだよ!!
ごほっ
やられちゃったんだけど…
それ以上は何もされなかったの
エステルちゃんも!?
へ?
私もそうなのよ!
ちょっと待って…どうして私たちだけ無事なのかな?
えっと…高ランクの遊撃士以外相手にしてない…とか?
だけど管理人さんは?
あれっ?
…っていうか色々変じゃない!?
血のりみたいに床に赤インクがまかれてたり
壁に貼ってた地図なんか小要塞の部分だけ破られていたでしょう!?
あ
あんですって——!?
ま…
まさか…

ガハハハ!!
よくぞここまでたどり着けたなぁ!!
ほめてやるぜ小娘ども!!
そ…それより管理人さんは無事なのよね!?
ほう?
こんな時でも人質の安否確認を怠らないとは…
だがふたりだけで俺たち3人を倒せるかな?
なんなら宿舎に戻って応援でも呼んでくるか?
…そんなの
必要ないわ!

宿舎に戻ったって
あんたたちが
壊した通信器は
使い物に
ならないもの！
でも…
そこが
失敗だった
わね!!
一定時間毎の
定期連絡が
途絶えれば
それが訓練場に
異変が起きたって
合図になるのよ！
ここに援軍が
到着するのも
もう時間の問題
なんだからっ！
それでもまだ
私たちの力を
試したいというならば
全力で
ぶつからせて
もらいます!!

猟兵の…
クルツ先輩っ!!
ふ…
ご名答！
これで
最終訓練も
完了だ！

はあああ～～
稚拙な猿芝居で申し訳なかったが少しはいい経験になっただろうか？
やっぱり…
だまされたー…っ
グラッツ先輩!!
カルナさんまで…
みんなして何やってるんですかぁ
うふふ
そうむくれるなって
これが最後の慣習なんだから
訓練生に危機的状況を体験させる趣向でもあるんだよ
今後もこういった事件に直面することがあると思う
だが…君たちなら大丈夫だ!
どんな困難も越えていけると信じているよ!
では改めて…
アネラス・エルフィード!
あ…
はいっ
エステル・ブライト!
はいっ!
これをもって本訓練場における総合強化訓練の全過程を終了する!
さあ!
胸を張って帰国するといい!

君たちの故郷
リベール王国へ――!!
リベール
あたしたちの国
すべては そこから 始まって
あの日
そこで すべてが 終わった――…
けどね
ヨシュア
また ここから 始めるために
あたしは 帰ってきたよ

ヨシュアは
あたしの
大切な家族

5年前
父さんがヨシュアを
家に連れてきた
その日から
あたしたちは
姉弟として
ずっと一緒の時間を
過ごしてきた
16歳になって
「準遊撃士」の
資格を得た
あたしたちは
リベール全土を
歩いて巡る旅に
出ることになる

すばらしい仲間たちと出会い
王国を脅かす黒い陰謀に対峙して
そんな中で
あたしは
ただの弟だと思っていたヨシュアへの
恋心を
自覚した
リシャール大佐のクーデターが失敗に終わり
リベール王国がいつもの平穏さを取り戻したかに見えた
あの日

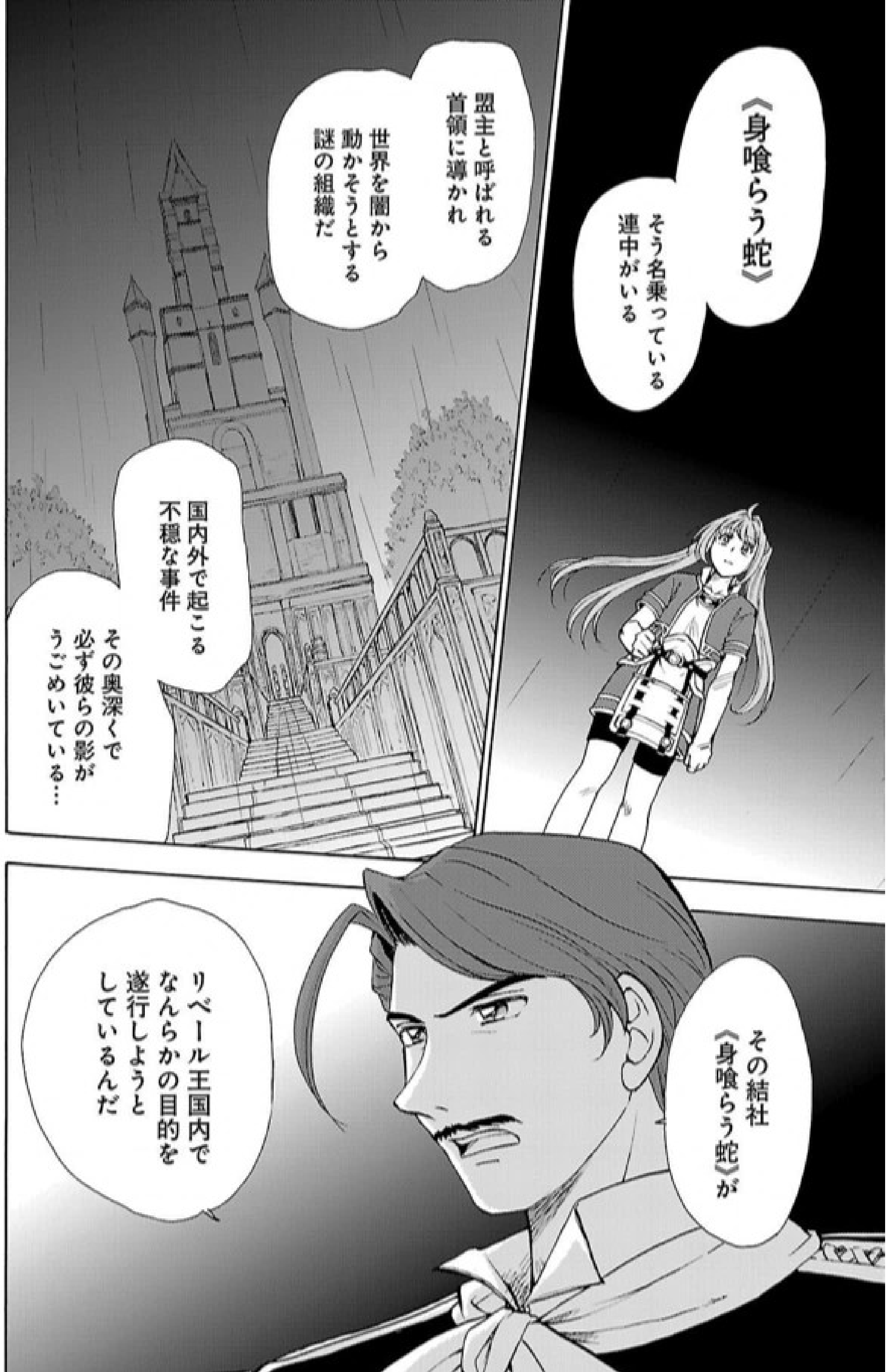
ヨシュアへの想いを伝えようとしたあたしは
逆に
ヨシュアから
衝撃的な告白を受けることになる
…だから
男の子は旅立つことにしました
幸せな夢を見せてくれた大切な人たちを
これ以上巻き込まないために…

僕のエステル
お日様みたいにまぶしかった君
君と一緒にいて幸せだったけど
同時にとても苦しかった…
そんな…
待ってヨシュア
さよなら
エステル
ヨシュア!
ヨ…
がばっ
あれ?
部屋の…
ベッド…?
な…なんだ…
はぁー
やな夢見ちゃ…

吹き納めにと
思ってね
ヨシュア!!
あら！
エステル
どうだった？
昨晩は…
シェラ姉!!
ヨシュアは
どこ!?
へ？
あんたと
一緒じゃ
なかったの？
…あっ
ちょっと
エステル!?

はっ
ヨシュア!?
良かった…
やっぱり
夢…
え…
父さん…？

そうだ！父さん！
大変なのよ！
ああ
ヨシュアは行ってしまったようだな
え…
あいつが書置きを残していたからな
大体のことはわかっている
わかってるって……
なんのこと…？
…何か…知ってるの？
父さんっ！

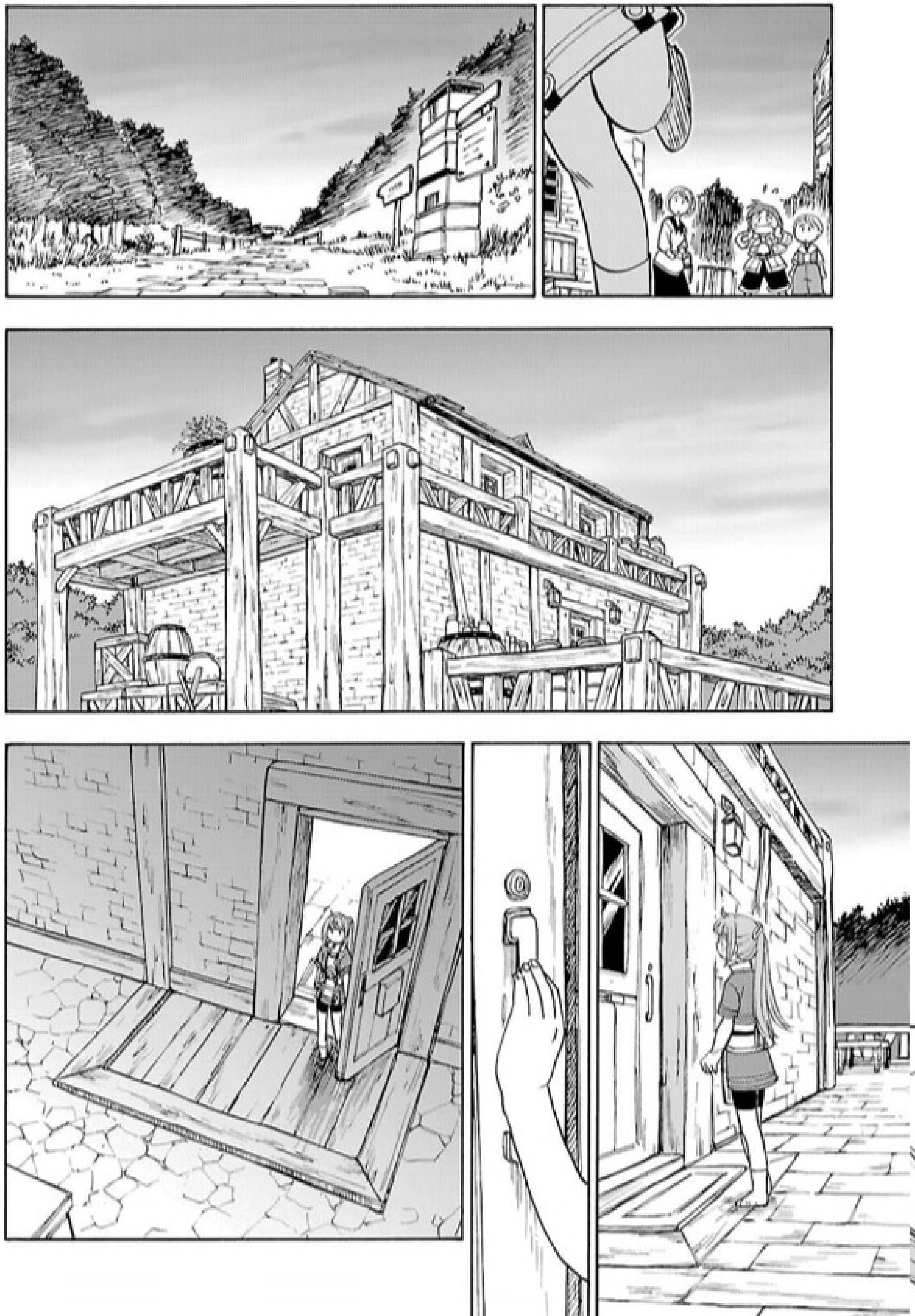

《身喰らう蛇》
そう名乗っている連中がいる
盟主と呼ばれる首領に導かれ世界を闇から動かそうとする謎の組織だ
国内外で起こる不穏な事件
その奥深くで必ず彼らの影がうごめいている…
その結社《身喰らう蛇》が
リベール王国内でなんらかの目的を遂行しようとしているんだ

《身喰らう蛇》…
リシャールが企てたとされている今回のクーデターも
裏で操っていたのは結社の人間と見て間違いないだろう
え…
そして
かつて
この結社に
ヨシュアは属していたんだ
男の子は毎日のように人を殺し続け
恐れられるようになりました
…あ…
5年前
ヨシュアが養子になることを承諾した時
あいつは俺にこうも誓った
結社という過去がなんらかの形で自分に接触してきた時には
俺たちの前から姿を消す…とな
男には…譲れない一線がある
簡単には割り切れないかもしれないが
…知ってたんだ…

父さんは…
ヨシュアが…
いつか…
あたしたちの前から
いなくなっちゃう
かもしれないって…
知ってたんだ…
父さんの
バカッ!!
ぱしっ
……
…すまん
ヨシュアが
いなくなるなんて
そんなこと
ある訳ない!
だって
ヨシュア
言ったじゃない…!
ずっと
君のそばに
いるって…
そうよ…
……
ヨシュアが
こんなところに
いる訳が
ないんだわ…

だって
あたしと
ヨシュアの家は
ロレントの街に
あるんだもの
アカン!!
アカンなあ
女神様も
がっかりやで
君みたいな
かわいい子ぉが
そんな…
顔…
し…
してたら
アカンよ…?
…ナンパしてる
場合ちゃうかな…
えーと…
大丈夫?
自分…
名前とか
ちゃんと
言えるか?
あたりまえ
でしょ?
あたしは
遊撃士の
エステル
エステルちゃんか!
ええ名前やなぁ
よっしゃ!
と…とりあえず
その柵の近くから
離れてみーひん?
なんなら中の
談話室で
オレと一緒に
お待たせ
しました
まもなく本船は
ロレント市に
到着いたします

やっと…着いた…
あたし
急いで家に帰らなきゃ…



ただいま!!
ヨシュア!!
帰ってきてるんでしょっ!?
…なんにも言わなくったって
とん
とん
とん
とん
あたしにはぜーんぶ
わかってるんだからね
入るよ
ヨシュア

そう
ちゃんとわかってる
ヨシュアはいつだってまじめで
軽い気持ちでこんなことをするような人じゃないから――…

だから
ここでおしまい
あたしは
もう
二度と
ヨシュアに
会えないんだ
…テル…
…エステル…

はっ
エステル
ちゃん！
そろそろ
降りる準備を
した方がいいよ
もうすぐ
グランセル空港に
到着だって
いよいよ本格的に
正遊撃士として
始動開始！だね
うん！
気合は十分
入ったかな？

ここぞまさしく
我が愛する
リベール王国！
長い空の旅
だったけど
…疲れた？
ううん
全然！
よーし！
じゃあ早速
遊撃士協会に
向かっちゃうよ！
やっと帰って
これたねー
あらま
感心！
仕事に対する
殊勝な心掛けも
強化訓練の
賜物かしら♡
あ…！

ただいま!!
シェラ姉!!
迎えにきて
くれたの!?
あたりまえ
じゃない
かわいい妹弟子が
やっと帰ってくるって
いうんだから
ふたりとも
おかえり
ありがとう
シェラ姉…
それに
気に掛けてたのは
あたしだけじゃ
ないし

ばっ…
…かやろう!!
俺は仕事で協会受付に呼ばれて王都に来てただけで
なのにわざわざ空港まで足を運んでくれるなんて!
あの!アガット先輩が!
うるせえぞアネラス!!
アガットも…
それにアネラスさんも
いや…まぁ…なんだ…
…ずいぶんヘコんでたって聞いてたしな
みんな本当にありがとう

でもあたしはもう大丈夫だから!
その…
ヨシュアのことでいつまでもくよくよしたって仕方ないんだし!
それに…
ヨシュアは
あたしが必ず見付けるから!

だって…このままじっとなんかしてられないもの！
あたしはヨシュアを
絶対に連れ戻してみせるんだから！
エステルちゃんならきっとできるよ！
そのためにあんな厳しい訓練を受けて己を磨いてきたんだし！
ぐぐーん!!と成長した姿をヨシュアくんにも見せないとねっ
モチのロンよ！
そんな訳だから早く遊撃士協会に急ぎましょ
その前にエステル
ちょっとあたしに付き合いなさい

うへぇーっ
ムリムリ！
こんなの絶対ダメだってば！
あら あんた あたしの見立てにケチを付けるつもりなの？
そうじゃないけど…
でもこれは短か過ぎ…
いいからとっとと着替えなさい！
これから晴れて正遊撃士の仲間入りって時に
色々あって…遅れちゃったけど
そんなボロボロの服着て出ていく女子がどこにいるのよ
あんたが正遊撃士に昇格したお祝いよ
さ
出てらっしゃい

エステルちゃんかわいいーっ
ぎゃーん♡
ぐ！
ほら見なさい♡
で…でも仕事着にスカートって…
み…見えちゃわないの？
バカねぇそれ用の下着をはくんだから平気でしょ？
それって問題解決になってるの!?
きゃあきゃあ
そもそもあたしに女の子らしい服装は…
ぴん
バカね
あんたはとっても素敵な女の子なんだから
身にまとうのもふさわしい物でなくっちゃ
あの頃とは違う自分を
見せ付けてやるんでしょ？

どう？気に入らないの？
ふふっ
なんなら…アクセサリーにも挑戦してみる？
んー…ん
まあ…
悪くない…かな…？
えー
ほれほれ
光り物はいいわよぅ
身に付けるだけで
自分が描く理想の女性に一歩近付けちゃうんだから
ごそごそ
あら？
なになに？もしかしてヨシュアからの贈り物？
ち…違うってば…
そういうんじゃないんだけど…

あ…はは…あたしにはまだ早いかな…
に…似合わないよね…
取ろ取ろ…
そう感じてしまうんなら
これからめいっぱい努力なさい！
その輝きに
つり合う女性になれるように

お待ちしていましたよ皆さん
ようこそ
遊撃士協会グランセル支部へ
どうしたんですエルナンさん？
わざわざ王都にまであたしたちを呼び出したりして
やばい仕事でも入ったのかよ？
…ええ
遊撃士の中でも確かな実力を持ったあなた方にしか
お願いできない依頼があるのです

シェラザードさん
はい
アガットさん
実はあなたがたには特別な任務として
ある組織の調査を依頼したいのです
組織？
世間への影響を考えてこれまで伏せてきたのですが…

私たちとは真逆の社会
いわゆる「闇」と呼ばれる位置に
とある大きな秘密結社が存在しています
彼らの活動は複雑な情報操作や
破壊工作
むごたらしい大量殺人と多種多様に渡り
大陸各地で起こる不可解な事件の背後に潜みながら
なんらかの目的を果たそうとしているらしいのです
…2ヶ月前
リベール王国を揺るがしたクーデター事件ですが

首謀者のリシャール大佐が逮捕され
リベールの危機はすべて過ぎ去った
…と
表面的にはそう見えるかもしれません
え？
ですが情報部のカノーネ大尉をはじめ多くの特務兵はいまだ逃亡中なのです
幸い彼らは軍人という性質上皆身元がはっきりしているのですが
その中に
ひとりだけ
素性も経歴も全く不明の人物が紛れ込んでいたのです

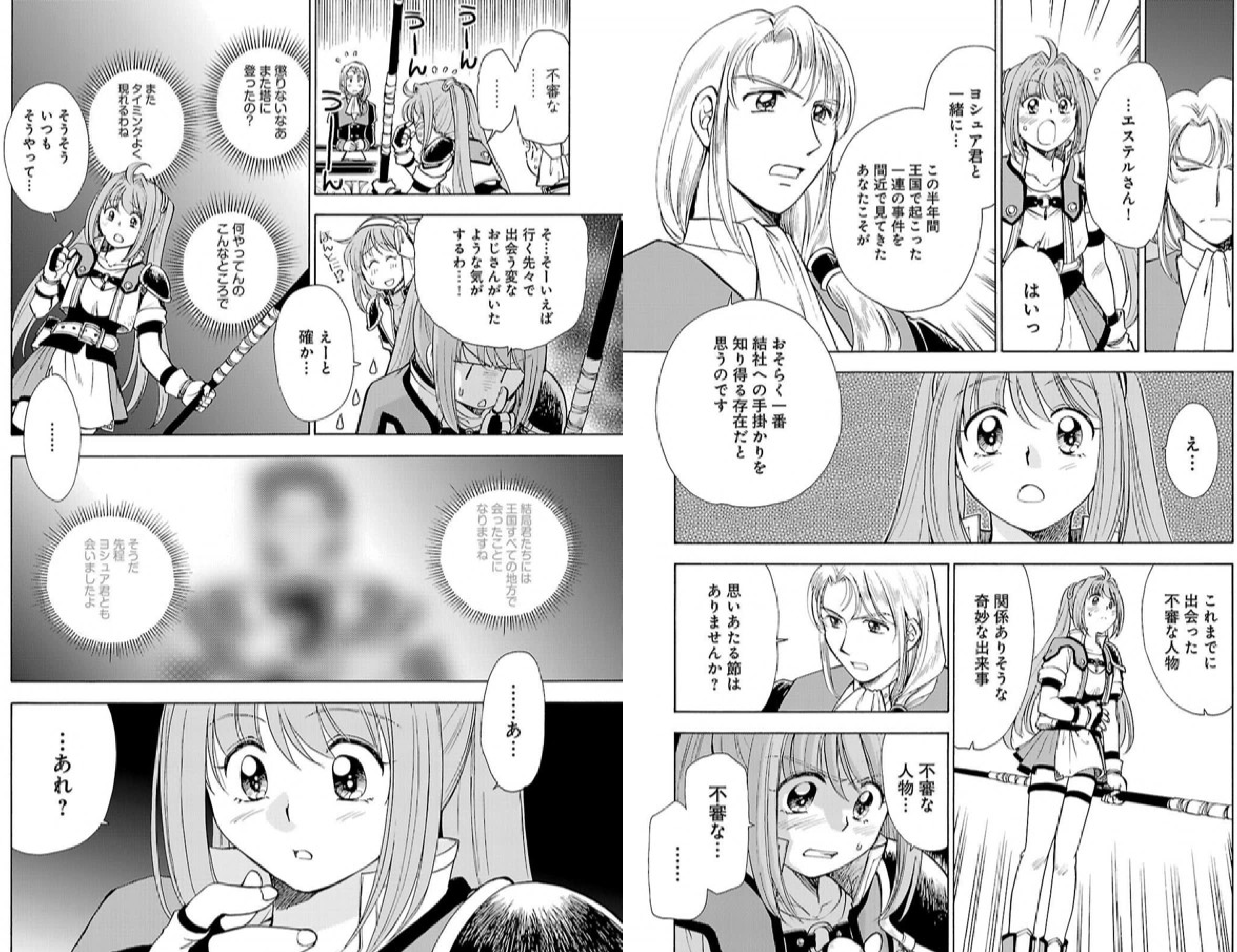
何者だ？そいつは
もしかして…
ロランス少尉のこと…？
ロランス…
あの赤い仮面野郎か!!
その通りです
クーデターを起こしたのは「輝く環」を手に入れるためだったたと
リシャール大佐は自供しています
その封印を解く鍵とされた「黒の導力器」
これをリシャール大佐に渡した人物が
ロランス・ベルガー少尉だったらしいのです

クーデターを企てたのは大佐だけど
きっかけを作ったのはロランス少尉だったってこと？
クーデターだけじゃねぇ
あの野郎はその前に起きた各地の事件にも関わっていやがった
つまり奴…
ロランス少尉が結社とやらの一員で
ここんとこのリベールの事件を裏で操ってた真犯人って訳か!!
そして今になっての調査依頼…
リベール王国に対する結社のもくろみはまだ終了していない…ということなのね？
この件はあのカシウスさんが非常に気にされているのです
父さん…
遊撃士協会としても事が起こる前に結社の動向を探り企みを阻止したいと思います
カシウスさんは准将待遇で王国軍作戦本部長に就任されました
今は傾いた軍の立て直しに全力を尽くされています
この依頼…受けていただけますね!?
あたりまえだ!!
他に今の時点でわかっていることはありますか？
ひとつだけ
カシウスさんから結社の正式名称を伺っています

その名は…
結社
《身喰らう蛇》!
…エルナンさん!!
お願いっ!!
あたしにも
結社の調査をさせてください!!

……
ですがあなたは…
あたしはまだまだヒヨっ子だけど
そんな連中ほっとけないもの!!
あたしだってリベール王国を守りたいから!!
……
そうじゃなくって…
もちろんそれも嘘じゃないけど…
……
ヨシュアが…
昔…結社《身喰らう蛇》に所属してたんだ…って

ヨシュアが結社で何をしてたか
何があったのか…
あたしには…わからないけど…
…でも ヨシュアが突然いなくなったことと
結社が王国に現れたことは無関係じゃないと思うんです!!
結社の動きを調べていけば
もしかしたらヨシュアの行方もつかめるかもしれない！
だからあたし
《身喰らう蛇》の調査に加わりたい…！
……
リベールが大変なのに…
こんな…
私的な理由だけど…
全く
ひどい話です
行方不明のヨシュア君を見付けたい…
その気持ちを
あなただけの私的な思いにしてしまうだなんて…
まだ2ヶ月…思い出すのも辛いでしょうに…
そんなあなたをこの事件に引きずり込んで良いものか
今の今まで迷っていたのですが…
エステルさん それにアネラスさん
こちらからもお願いします！
《身喰らう蛇》の調査に力を貸してください！


…エステルさん！
はいっ
ヨシュア君と一緒に…
この半年間王国で起こった一連の事件を間近で見てきたあなたこそが
おそらく一番結社への手掛かりを知り得る存在だと思うのです
え…
これまでに出会った不審な人物
関係ありそうな奇妙な出来事
思いあたる節はありませんか？
不審な人物…
不審な…
……
不審な……
うーん
うーん
うーん
そ…そーいえば行く先々で出会う変なおじさんがいたような気がするわ…！
えーと確か…
懲りないなあまた塔に登ったの？
何やってんのこんなところで
またタイミングよく現れるわね
そうそういつもそうやって…
……
結局君たちには王国すべての地方で会ったことになりますね
そうだ先程ヨシュア君とも会いましたよ
……あ…
…あれ？

…うそ…
どうしてあたし
あの人が思い出せないの？
なんで…？
エステルちゃん…
気持ちはわかるけど無理やり不審者を作るのはよそう？
あ…
そうですね…
得体の知れない相手ですが
あまり気負い過ぎるのも良くないかもしれません
まずはいつものように通常の仕事をこなしつつ
情報収集から始めることにしてみましょう

では最後に
どなたがどの地域を担当するかについてですが――……
ちょっとエステル！
待ちなさいってば！
あんたはまだ新人なんだし
しばらくはあたしと一緒に行動した方がいいんじゃない？
なに言ってんのよシェラ姉！

決めたでしょ!?
みんなで手分けして情報を集めようって！
シェラ姉はロレント地方の担当！
アネラスさんはボース周辺で
私もともとボースっ子だしゅ♡
アガットがツァイスを調べてくれるって言うんだから
俺はどこでもいーけど
LIBERL
Bose
Rolent
Ruan
Grancel
Zeiss
残ったルーアン地方には
あたしが行くっきゃないってね！
でも…あんたはまだ…
あれー？
んー？
そこのかわいい女の子…！

もしかして君…
エステルちゃんと違う？
じー
へ？
やっぱりそうやん!!
君のことめっちゃ心配してたんやで!?
あ…あたし？
どちら様？
え…
えっと…
……
……
誰？
うっわ

…まぁ
しゃーないか
だいぶ前に
飛行船で
声掛けただけやし
あの後 ロレントの
お家にはちゃんと
帰れたんか？
あ！
あの時の
……!?
もしかして
2ヶ月前 失踪した
この子の目撃情報を
協会に知らせて
くれた方ですか!?
そうでしたか…
その節は
ありがとう
ございました
ペこ
ぐいっ
そやけど
元気な顔見れて
安心したわ
これから
飛行船で
家に帰るん？
うぅん！
今日は仕事で
ルーアンに
行くの！
はっ
やっぱりあんた
ひとりじゃ
心配だわ
今回の仕事は
ただの調査じゃ
ないわけだし…
シェラ姉
あたし…
だからこそ
みんな
分散するん
じゃない！
どんな手掛かりも
見逃さないように
王国全体に
目を光らせて
おかなくっちゃ！
う…
嬉しいの！
あたし
めいっぱい
頑張って
くるからね！

あの－…
そない心配なんやったら
オレがその子をルーアンまでエスコートしましょか？
実はオレも今から仕事でルーアン市へ行くとこなんですわ
まあ…言うてもおんなじ飛行船に乗るだけですけど
それでも良かったら…
…て
くれぐれも不審な人物には気を付けるのよ!?
ちょい待ち!!
はい
…杯…
「星杯の紋章」か!?
えっ
誤解やでおねーさん
これ
見て
それじゃああなた…！
オレはケビン・グラハムいいます
見ての通り七耀教会の神父さんです♡
任せて安心！真面目で素敵な聖職者ですわ
さぁ！迷える子羊ちゃんオレと一緒に行きましょか！
ああ言ってくれてるし…
今さら断るのも悪いから…
とん☆
仕方ないわね
何かあったらちゃんと協会に連絡するのよ!?
ファイトだよ！エステルちゃん！
うんっ

行ってきます！

カンパネルラ
遅かったな
やぁ
確か君は…
リベール王国のロランス少尉…だったかな？

…なーんてね
《身喰らう蛇》執行者No.Ⅱ
《剣帝》レオンハルト
久しぶりだねぇ 君がいない半年間はさびしくてたまらなかったよ
心にもないことを…
帝国遊撃士協会の襲撃はおまえが担当したらしいな
カシウス・ブライトの相手はさぞ楽しかったろう？
いや―― あのオジサンはとんでもない人だね
おかげで手持ちの猟兵団をひとつ潰されちゃったよ
ジェスター猟兵団か…
でもま君の工作完了まで帝国に足止めできたんだから上出来かな？
そうそう
カシウス・ブライトといえば
「彼」… 行方をくらませたんだって？
…うふふ 愉しみだな
彼の隠密活動は僕たち執行者の中でもピカイチだったしね
漆黒の闇に紛れて何をしでかそうとしているのやら

やあ
カンパネルラ
帝国では
ご苦労だったね
難しい仕事を
よくこなして
くれた
あんな楽しい
計画書を
見せられたら
誰だって張り切って
働いちゃうよ
ワイスマン
教授
だが
お楽しみは
ここからが
本番なのだよ
何しろ
今回の計画に
協力してくれる
諸君は
皆リベールに
個人的な目的を
持っている人間
ばかりだからね
君にそう言って
もらえるとは
光栄だ
なーるほど
人の記憶を
弄っちゃうような
悪趣味な教授が
考えた計画と
それを遂行する
執行者たちの因縁にも
要注目ってわけだね
ああ
心ゆくまで
見ていくといい
我らが《盟主》の
代理としてね

うふふ
任せておいてよ
執行者No.0
《道化師》カンパネルラ
これより使徒ワイスマンによる
《福音計画》の見届けを始める

おおー
ほんまや
海が
見えるわー
なるほどなー
「海港都市」
ルーアンかー
オレ
この辺来るの
初めてやけど
えぇ感じの
街やん
でしょ!?
ルーアンには他にも
大きな跳ね橋とか
見どころがたくさんあるのよ!

その通りです!!お嬢さん!!
ルーアン市の観光事業をご支持いただきありがとうございます!!
ルーアンの未来のために観光推進派はますます努力してまいります!!
あなたの一票はぜひとも我らのノーマン氏へ!!
えーと…
…とまあこんな感じで
ここはリベールきっての観光都市なの
そーなんか!
それは違うぜお嬢ちゃん!!
ルーアンといえば
船と港の海運の街!!
ルーアンが誇る海路と港湾を守っていきましょう!
市長選は
熱い海の男ポルトスに一票を!!
なんか…前の雰囲気と違うわね…
活気があるのはええことやね
さてと…
自分の目的地はどこら辺にあるん?
あっちに教会があるのはわかったけど
あたしの遊撃士協会はすぐそこだから!
ほな ここまででええのんかな?

ありがとう
ケビンさん
その…
色々と
あんまり
無理せんと
頑張りなぁよ
よし！
いらっしゃい
エステル君！
ルーアン支部へ
よく来て
くれたね！
ジャンさん
あたし…
話は
エルナンから
聞いている
例の結社の
情報について
……だね？

実は…
前市長の事件以来
ルーアンはすこぶる
平穏でさぁ
え…
結社が関係
してるような
ヤバイ案件は
ないんだよね…
通常の仕事も
準遊撃士だけで
回せてるし…
君はしばらく
のんびりしてても
いいんじゃないかな
で…でも
ジャンさん
どんな小さな
依頼だって
何につながるか
わかんないわ！
あたしに
できることは
ないかしら!?
なんだって
構わないから!!
……本当に…
聞かせても
いいのかい…？
遊撃士への
依頼にすら
できないような
身の毛もよだつ
この話を——……

え…
ええ!?
さかのぼること
3日前
草木も眠る
午前2時
いわくありげな
中世の遺跡
エア=レッテンの
関所に勤めてる
とある兵士から
聞いた話
なんだけどね…
その日 彼は
深夜勤務で
ひとりで
真夜中の関所を
巡回していたんだ
その時ふっと
何かの気配を
感じて
空を
見上げると…

え!?
そ…
それって…
まさか…!?
白くて
ボンヤリした
・・
ソレは
宙に浮かんで
じっと兵士を
見つめていた
そうだ…
驚いた兵士は
思わず銃を
発砲した
弾は全弾
白い影に命中
したように
見えた…

しかし…ソレはあざ笑うかのように
兵士の頭上を飛び回ったのち
北の方角へ消え去ってしまったそうだ…
古い遺跡に現れた謎の浮遊物体
物言わぬ白い影は我々に何を伝えたかったのだろうね……

なーんて♡
ペカー
…てな感じで関所からのオカルトちっくな話がくっついてきたんだよ
びくっ
まあ…別に調査を頼まれた訳ではないし
…
はっはっは
正直僕もさっきまではスルーしてもいいと思ってたんだけどさぁ…
……
…だけど
君の言う通りだね
ささいな出来事に隠された手掛りの糸口を
僕は先入観だけで見逃してしまうところだったのかもしれない…
エステル君！
はっ

この白い影の正体…
解き明かしてくれるかい!?
あ…
は……
は…ははは…やだなジャンさん
い…今時…そんな…ゆ…ゆ…幽霊…なんてはやらないわよ…？
そ…そーよね せっかくだから お言葉に甘えて のんびりさせて もらおうかしら… …なんて…
がくがくがくがく
エステル君…
ごめんなさいジャンさん!!
それだけは無理っ!!
だめなのあたし
そーいう…オバケとか…幽霊とか…っ
昔から…どーしても だめなのよぉ
まあ本当にオバケの可能性もあるけど
ただ近頃同じような目撃情報が多いんだよね
……
エア=レッテン
ルーアン港倉庫街…
マーシア孤児院の子供たちもそれらしいものを見たらしいし…
これは…本当に盲点だったかもしれないな…
よし! 僕も少し調べてみるよ
エステル君は現地で聞き込みを…
いいからっ それはもういいからっ
やだやだやだ もぉやめてぇえ〜
エス…
……

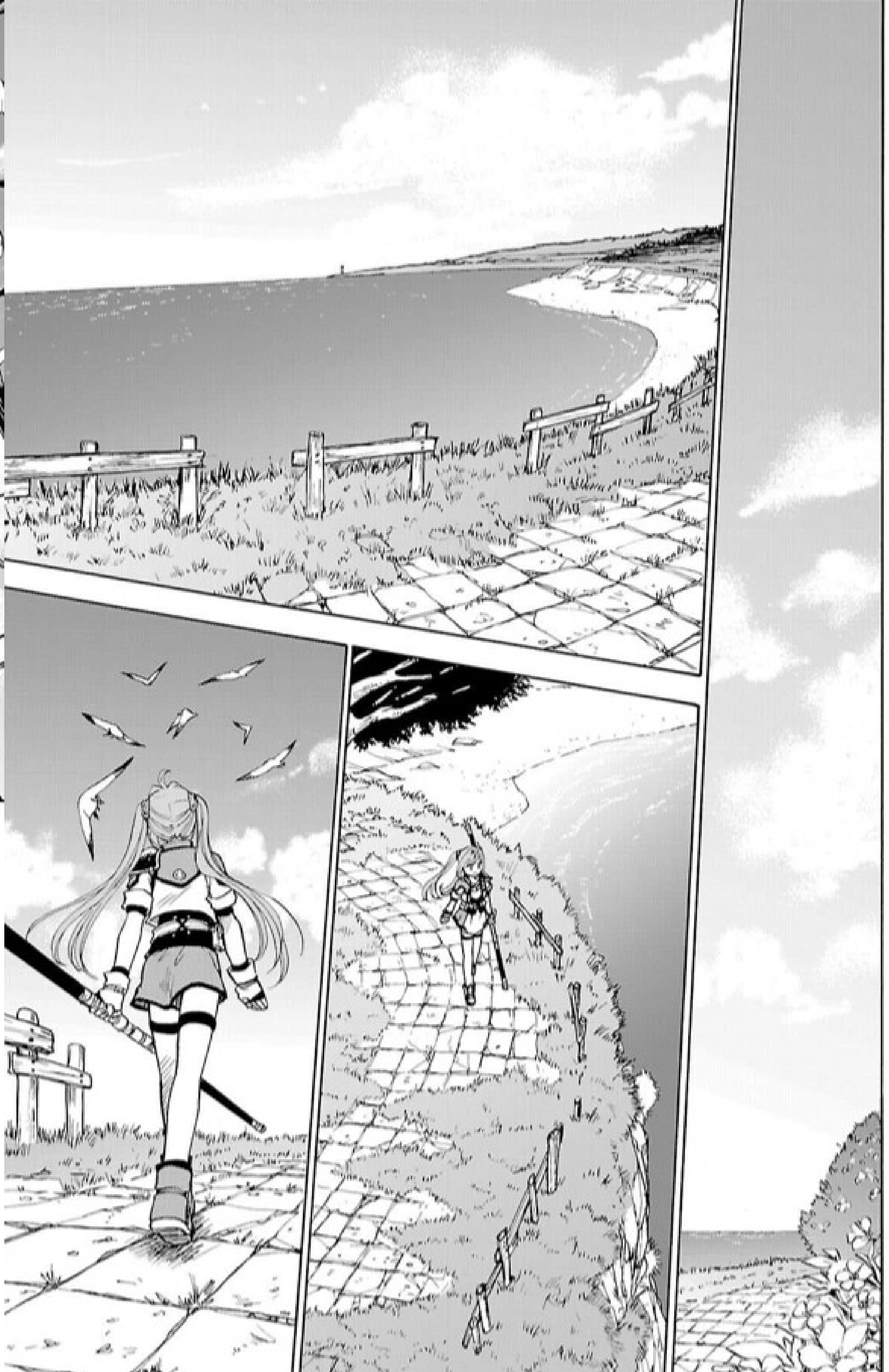
…まあ
そんなに嫌なら無理強いはしないよ
じゃあこの話は
なかったことに
何かあったら連絡するから
それまで自由にしていいよ
だって…
よりにもよって…

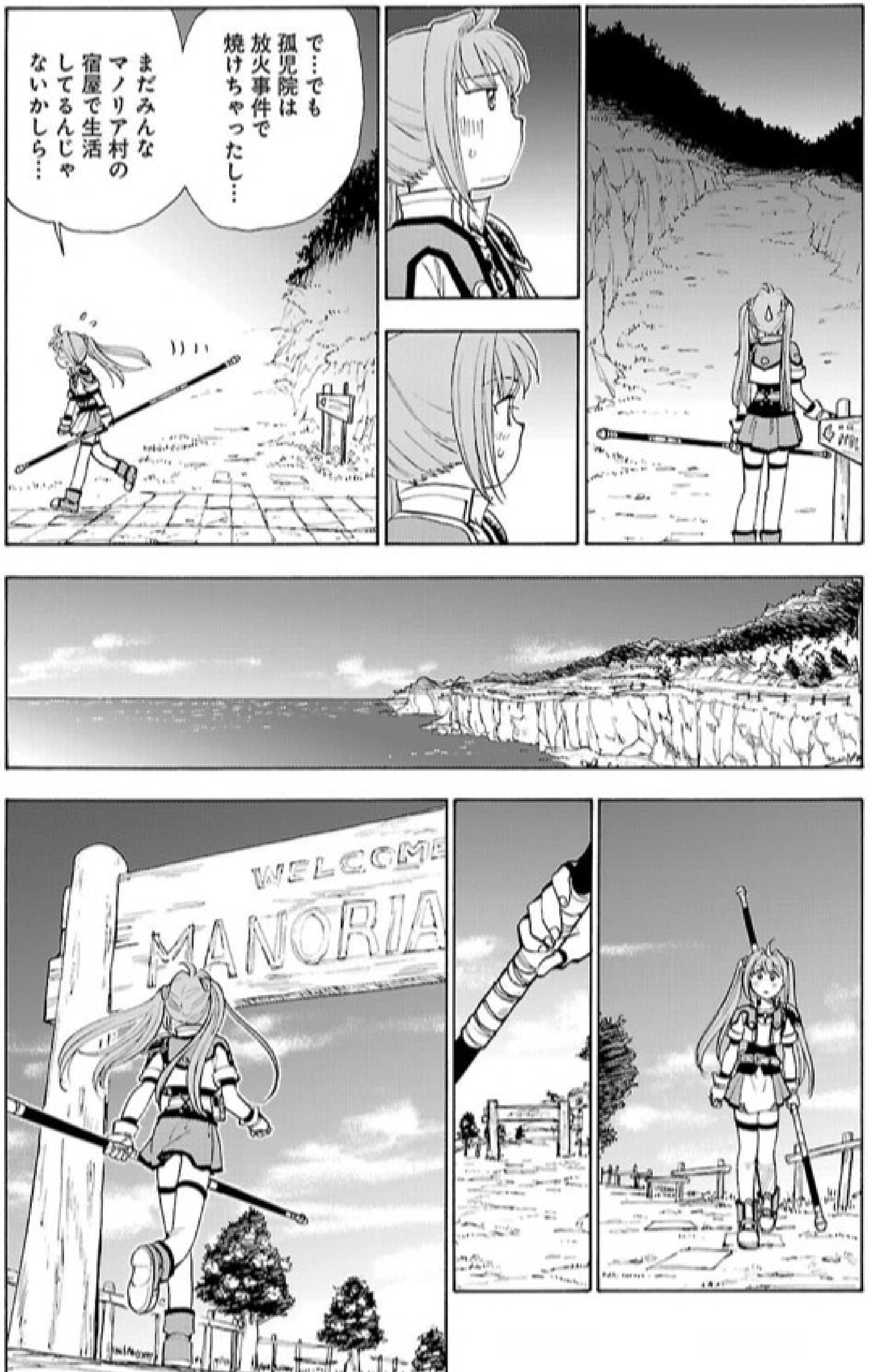
幽霊の調査って…
やっぱり無理よ無理…
だってこれはしょうがないわよね…？
誰にだって苦手なものはあるわよ
…ね!?
ああ…
そっか…
え…
えーと
とりあえずは…

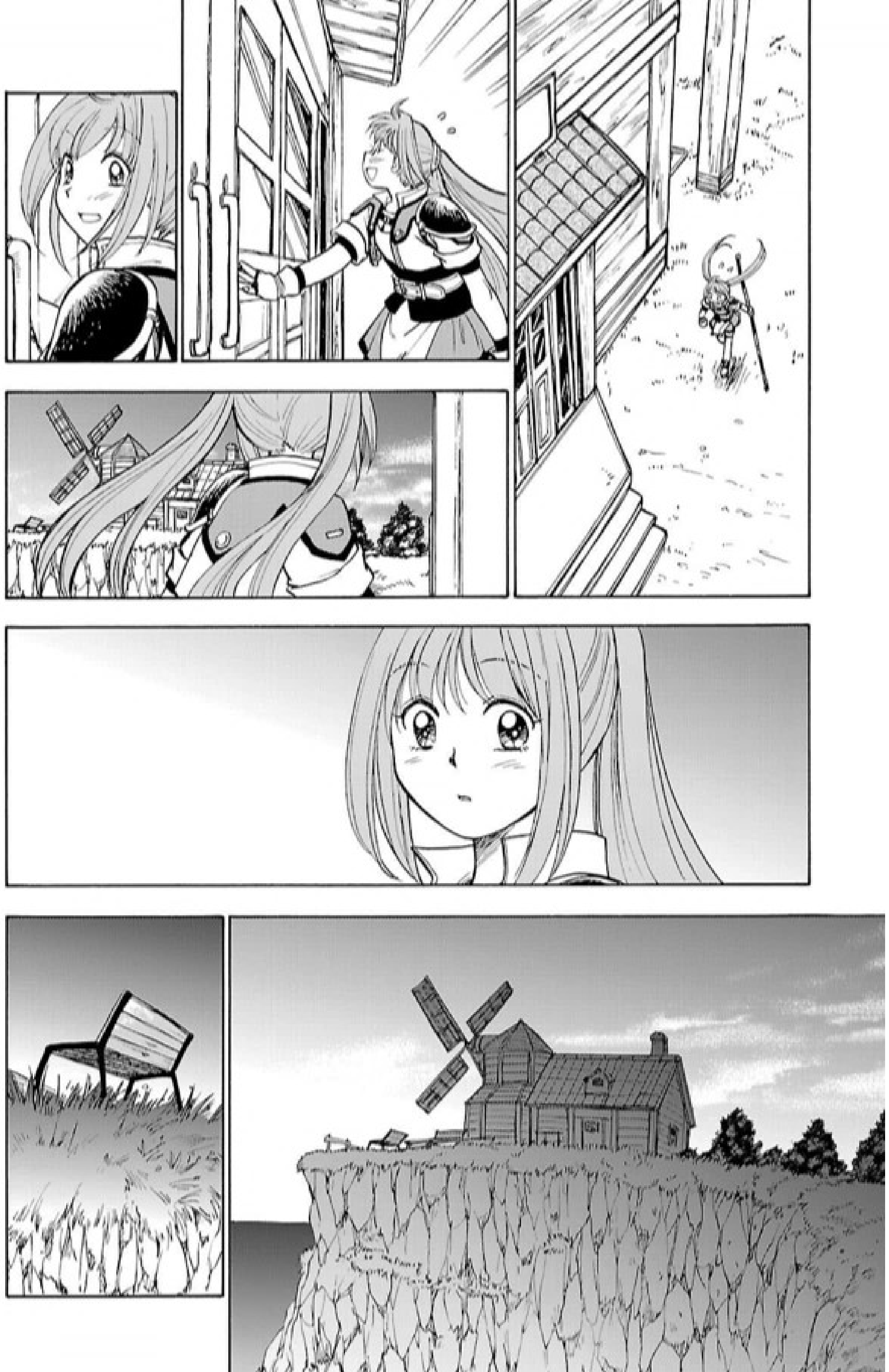
AVAN
ありがとう
いただきまーす♡

そういえば…マーシア孤児院にも幽霊が出たって言ってたっけ…
あの子たち…
大丈夫だったのかしら…

わあっ
すご…
すごーい
カモメ
「北」
「マーシア孤児院」




で…でも孤児院は放火事件で焼けちゃったし…
まだみんなマノリア村の宿屋で生活してるんじゃないかしら…
WELCOME
MANORIA



ぐっ！
いらっしゃいませ！
白の木蓮亭へ
あのっ
すみません あたし…
テレサ先生とちびっこたちに会いたいんですけど…!!
ああ…孤児院の？
みんなもうこの宿屋にはいないわよ？
え…!?

全焼したマーシア孤児院の跡地にね…
先日やっと新しい建物が完成したの！
あの子たちの元気な笑顔
早く見にいってらっしゃいな！
ぐっ！
ああっ！

あんなに黒コゲだったのに…
本当に…！
良かった…
エステル姉ちゃんじゃん！
クラム!!
がばっ
姉ちゃん久しぶっ
クラムーっ！
会いたかったよーーっ！
なんだよもうっ！
相変わらずガキっぽい姉ちゃんだなあ！
みんなー！
エステル姉ちゃんが来たぞーー！
ええっ!?
エステルちゃんだーー！
ほんと？
マリィ！
ダニエル！
ポーリィ！
あれ…？
ヨシュア兄ちゃんは？
一緒じゃないの？

うん…ちょっと用事でね
なんだ用事か…
で？
姉ちゃんはどんな用事？
あ…！
お姉ちゃん！こっちだよ！
もうクラムったら！
お客様はちゃんとお部屋にご案内しなくちゃだめでしょう!?
新しいお家なの－
い…いいの！あたしはここで！
みんなの顔を見にきただけだし！
あらまあエステルさん良く来てくれましたね
さあ中にどうぞ！
テレサ先生…

…でね！とどめに
その美人でかっこいいユリア隊長がビシッとこう言い放ったの！
「ルーアン市長ダルモア殿!! 貴殿を逮捕する!!」
それで!? それで!?
こらこら
これじゃいつまでたっても食べられないでしょう？
ごめんなさいね 温め直してきましょう
いいぇ！大丈夫！

とってもおいしい
でしょう？先生のお料理はリベールいちだもん
そんなことよりさー
市長はどうなったんだよー
ぜっぴんなのー
んも――っクラムったら!!
帰るって今から!?
エステルちゃんだめなのー
そんなぁ
で…でもあんまり長居するのは別の意味でだめというか…
バカだな夜中に出歩く方がやばいって…
オバケが出たって知らねーぞ？

とにかく早く寝ちゃおう！
くだらないことは考えない!!
あったかい…
今日の夕食はおいしかったなぁ
誰かと一緒にごはんを食べるっていいなぁ…

ヨシュアは…
ちゃんとごはんを食べてるのかな…
ベッドの中で眠れてる?
周りに支えてくれる人はいるの?
ヨシュア

あーー
よく寝たぁ
あれっ!?
あ
お寝坊さんなのー
おはようお姉ちゃん
もうすぐ朝食ができますよ
すみませんエステルさん
クラムを呼んできてもらえますか!?
あ、はいっ!!

おーい
クラム！
朝ごはん
だって！
あと
ちょっとだけ！
何
してんの？
草むしりだよ
今日は
日曜学校があるから
今やっとかないと…
ここの畑の苗は
植えたばっか
だからさ
念入りに
草を取って
やらなきゃ
だめなんだよな
ふうん…
熱心だね
まあな
男の約束
なんだ！

オイラさぁ…
孤児院を守るって
言いながら
バカなこと
ばっかしてた
だろ？
だから…
ちっともうまく
いかなくて…
そん時にさ
ヨシュア兄ちゃんが
言ったんだ
君には
君にしか
できないことが
ある
先生を笑顔にして
あげられるのは
オイラだけなんだ
…って！
こいつら
抜いても
すぐ生えて
くるからさ！
草むしりって
けっこう大変な
重労働なんだぜ!?

こーゆー仕事を女子供にやらせるわけにはいかないんだよなー
そっか…
クラムは頑張っているんだね…
あたし…バカだなぁ
あたしにも目の前にできることがあるっていうのに…
ヨシュアに会えないことに比べたら
幽霊なんて…全然たいした問題じゃないわ！
はあ…？
ねえクラム
あたしね
聞きたいことがあるんだけど

ゆ…
幽霊!?
こ…こわがらせてごめんね？
実はあたしその調査のためにここへ来たの
マーシア孤児院で白い影を見たって聞いたんだけど
ああ…そのことですか
白いオジチャンだ――！
あ
オ…オジチャン？
4日前のことです
ポーリィとダニエルが空に浮かんでいる変なマスクの男の人を見たらしくて…
マスク!?

オジチャンねー
お空でくるくる踊ってて
とってても楽しそうだったのー
それでねーポーリィが「こんばんはー」って言ったら
え!?
こんばんは───
すっ
ぺこっ
…ってしてあっちのお空に飛んでっちゃったのー
えええ〜〜〜
あっち!
それ以来その男性が現れた様子はないんですが
この子たちが嘘を言ってるとも思えなくて…
うそじゃないもん
ねー
あんな事件もありましたし…
念のため協会にお知らせした次第なんです

それじゃあみんな
また遊びにくるからね
なーなー姉ちゃんそん時はさー
ヨシュア兄ちゃんも連れてきてくれよな
おう
モチのロンよ!
テレサ先生!ありがとうございました!
本当にまたいつでもいらしてくださいね
エステルさん少し時間があったら…
どうか学園のクローゼに会いにいってあげて?

あの子も
あなたのことを
とても…
とても心配していましたから
ありがとう
先生
踊ったり
挨拶したり
白い影…
白いオジチャン…
一体何者
なのかしら?
なんか…
持ってた幽霊の
イメージと
違うなあ…
今の情報
だけじゃ
まるで…
ただの
お調子者…
ぱしん!
よぉーし
こうなったら
とことんまで
付き合って
やろうじゃ
ないのっ!!
うわあああ!!
びくぅ!
え?
ひょえーっ
え?
誰かー
助けてぇ
——っ

ギャアアア
大変！
誰かが魔獣に襲われているんだわ！
きゃー
もう
だめだー
ドオオ
大丈夫!?
こいつはあたしに任せて
早く逃げ…

あれっ!?
レ…
レイヴン!?
あんた…あん時の…
遊撃士!!
ギャアア
とにかくここはあたしが引き受けるわ!
あなたたちは安全な場所へ避難して!!

余計なお世話だぜ!!
危ないわ!! 下がって!!
るせえ!!
さっきはちょっと油断しただけだ!!
ディン!! レイス!!
あいよ! ロッコ!
オッケーよん!
もう一回行くぜ!!

バクッ
…今だ!!
はあぅ
ぼっキーょん!
やった!
キャアアア
バシャ
バシャ
ふう…

しゃあ!!
すごい!
ナイス コンビネーション!
やるわね! あなたたち!
だから あんたの助けなんか いらねぇって 言っただろが!
なんでもかんでも 自分が正しいと思って しゃしゃり出て きやがって…
これだから 遊撃士ってやつは 気にくわねぇんだよ
あ…
そ… そうだったわ
ペこ!
ごめんなさい!

い…いやいや! さっきは本当に 助かったし!
あやまる必要は ないって!
ロッコちゃん 言いすぎー
む…
そうじゃ なくて…
その…ずっと前 ルーアンの倉庫で
クラムと一緒に 殴り込んだことが あったでしょ?
あなたたちは 無実だった のに…
…本当に すみません でした!
あの時は …今もだけど… 遊撃士として 未熟で…
いや… あれは俺も 悪かったし
もう すんだ話で いいじゃん!
あ… でもね…?
こういう街道から はずれた場所を 歩くのはやっぱり 危険だと思うの
わかってる って
だからこそ ここに来てるん だってば!
まさか…
自分から 魔獣に…?
あんで すって
なんで そんな 危ないことを

まあ…自己鍛錬の一環ってやつ？
ついでにこの世からワルイ魔獣がいなくなったらハッピー☆ってね
すごいわね
あんな大きなの遊撃士だって苦戦しそうなのに…
…っていうかあなたたち
遊撃士を目指してみたら!?
な…
お…俺たちが？
あのヨシュアもレイヴンの潜在能力を認めてたしね
その気になればきっとなれると思うわよ！

オレらみたいな不良が遊撃士!?
ありえねー!!
俺たちケンカ以外できることなんかなーんにもないぜ？
そっかな…
じゃあ…って訳でもないけど
え？
実はね…最近ルーアン地方で「白い影」が何度か目撃されてるらしいの
もし何か…心あたりがあったら教えてくれると助かるんだけど
あたしの仕事に協力してもらえないかしら？

それって…
だよな…
俺たちレイヴンのメンバーにベルフってやつがいるんだけどさ
1週間程前
そいつが真夜中に突然大騒ぎしたんだ
そん時にあいつ「白い幽霊が出たー!」とか叫んでたんだよねー
そう!
それよ!!
まじで!?
オレらお役立ち!?
うん!うん!
そのベルフさんは今どこにいるの!?
さあ…あいつそれ以来倉庫に来てないし

おおかたビビって自宅に逃げ帰ったんじゃね?
ベルフさんの自宅?
ノーマンっておっさんの家だよ
ベルフはそこの長男なんだ
ノーマンさんの家
市長邸の右隣の家
えっと…市長の家…
あーあ!!今日はもうやめだ!!
すっかりやる気がそげちまった!!
ディン!レイス!
帰ろうぜ!
ほーい
あ…ありがとう
色々情報を教えてくれて

そーいや
ロッコちゃん
ベルフん家って
レイヴン倉庫の
近くだったよねー
知るか！

確かにベルフは
家に戻ってきて
いますわ
でも…
あの子…
まともに話が
できるかしら…
ぶつ
ぶつ
ぶつ
…あの夜も
レイヴンの仲間たちと
港の倉庫で寝てたんだ…

夜中にふと
外に出たらさ…
真っ白な服を着た幽霊が
空をグルグル
飛び回っていたんだよ…
幽霊は…そのまま
北東の空に飛んで
行っちまったけど…
外に出たら…
またあの姿を
見てしまいそうで…
あああ…
思い出さないいように
してたのに…
息子はずっと
あの調子で…
主人のノーマンは
今度の市長選挙で
頭がいっぱいだし…
私
もう…
どうしたら
いいのか…

このまま
じゃ
だめだ!!
この状況を
打破する
ために
あたしは
何をしたら
いいのかしら
…
何?
あの
人だかり…

うっわ…
橋で何かあったのかしら
それが…どうやら
ノーマンさんとボルトスさんの支援者たちが言い争いをしてるみたいなのよ
…ノーマンさんって あの
…とぼけるんじゃない！
幽霊騒動があんたたちの仕業なのはわかっているんだ!!

ノーマンさんの息子さんもショックで寝込んでいるんだぞ!!
やりすぎだとは思わないのかね!!
やりすぎなのはそっちだろ!!
訳わからねえインネン付けてボルトスさんを陥れるんじゃねぇよ!!
だいたいその息子ってのはレイヴンの不良だろ!!
そんなの信用できっかよ!!
く…
そ…その不良のたまり場はあんたたちの港湾にあるんだろうが!!
ああ!?
もう我慢できねぇ!!
やってやろうじゃないか!!
おおっ!!

ドカッ
ドッ
ゴスッ
ちょっと…やめて!!
幽霊と選挙は絶対関係ないってば!!
みんなも! 落ち着いて!
ケンカ止めなくちゃ…
ポロローン
フ…
哀しいことだね

争いは何も生み出さない
ただ心にむなしく亀裂が走るだけさ
さあ
振り上げた拳を開いて
お互いの手を取り合おう
愛を失いかけた君たちに
ボクはこの歌を贈るよ

ひのひかりー
もとめればー
はじめてのー
やくーそくー
まーもらないー
やくーそー
きみのー
とーいーきー
ほくにーしてー
えいえんのー
ゆめー
どんぶらこ…
…あれ？
だっ誰か…
ボートを止めてくれたまえー！

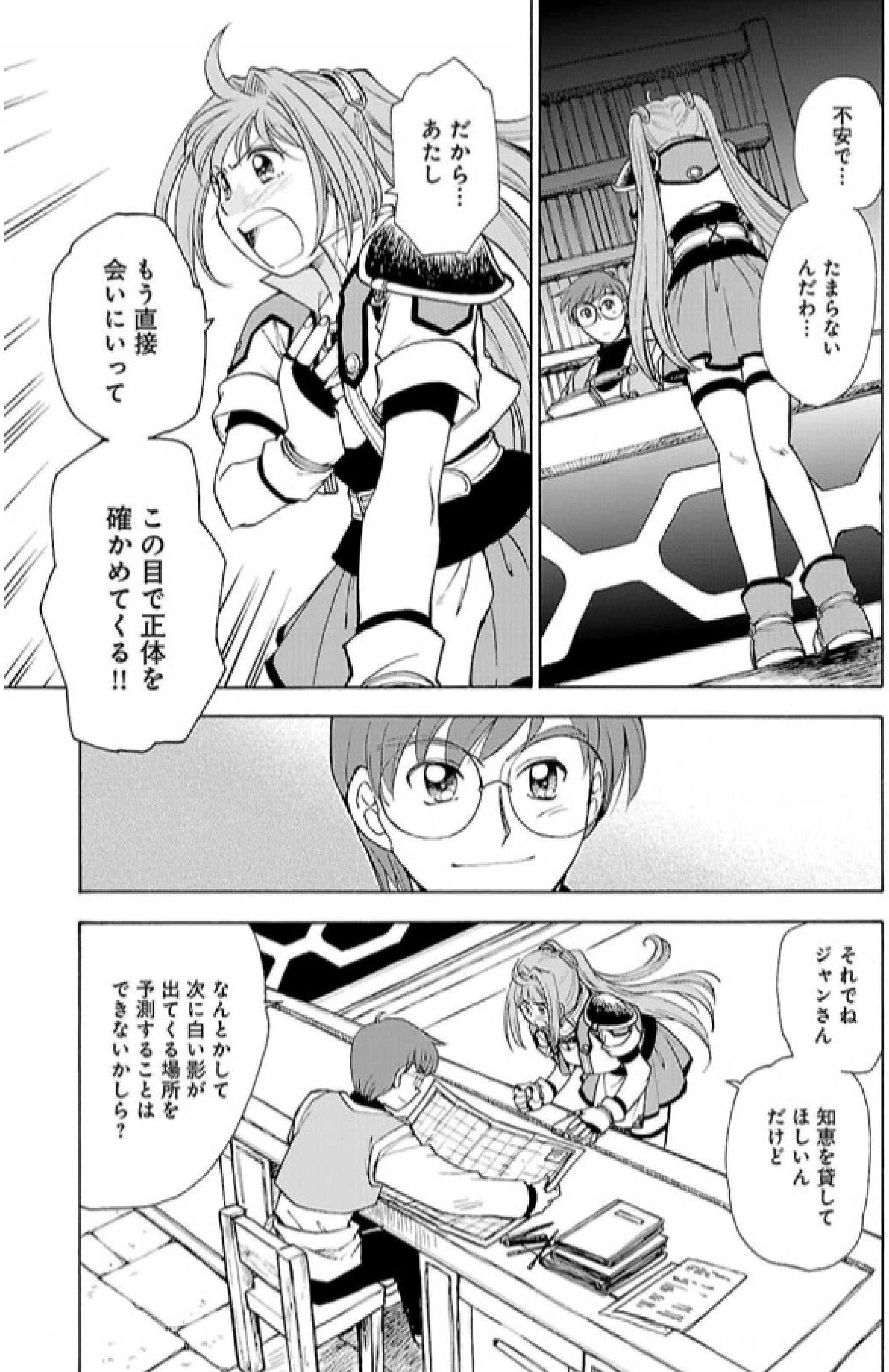
……
何やってんのあんた
そ…それが血気盛んな民衆の暴動を身を挺して鎮めようとした人間に対する言葉なのかい!?
うそうそ
さっきはホントに助かったわ
ありがとうオリビエ！
全くエステル君ときたら…
そこはもっと激しく突っ込んでくれないと
…ていうかあんたホントにリベールへ何しにきたの？

何って…もちろん
エステル君との感動の再会に決まっているじゃないか
君が外国から戻ってきたと聞いてね
これは挨拶せねばと飛んできた訳なのさ
相変わらずお調子者なんだから…
…そういえばオリビエの服って白いわね？
ルーアンに飛んできて楽しそうに踊ったりする
ただのお調子者よね!?
も…
もしかして

…なんてね
オリビエが幽霊の正体…
そーだったらちっともこわくはないんだけど
幽霊？
なんだいそれは？
そんなにボクに似ているのかい？
見たことはないんだけど
どこかオリビエを連想させる部分があるのよね…
ほほう
だとすればさぞかし美しい幽霊なのだろうね！
何言ってんのよ
これはぜひお会いして確かめてみなくては！
ううん…確かに
そうかもしれないわ！

ジャンさん！
昨日は
ぐだぐだ言って
ごめんなさい!!
ぺこ！
でも「白い影」が
ルーアンの人たちに
良くない影響を
与えだしてることが
わかったの！
でね
この問題は
なかったこと
なんかにしちゃ
いけないわ！
どうやったら
解決できるか
考えてみたん
だけど

こ…
この
白い影に
会うことは
できない
かしら!?
あ…
会うって…
君…
だって
そうでしょう!?
結局
白い影が
なんなのか
わかんないから
みんな
良くないことばかり
考えちゃうのよ！
なんにも
わからないから…

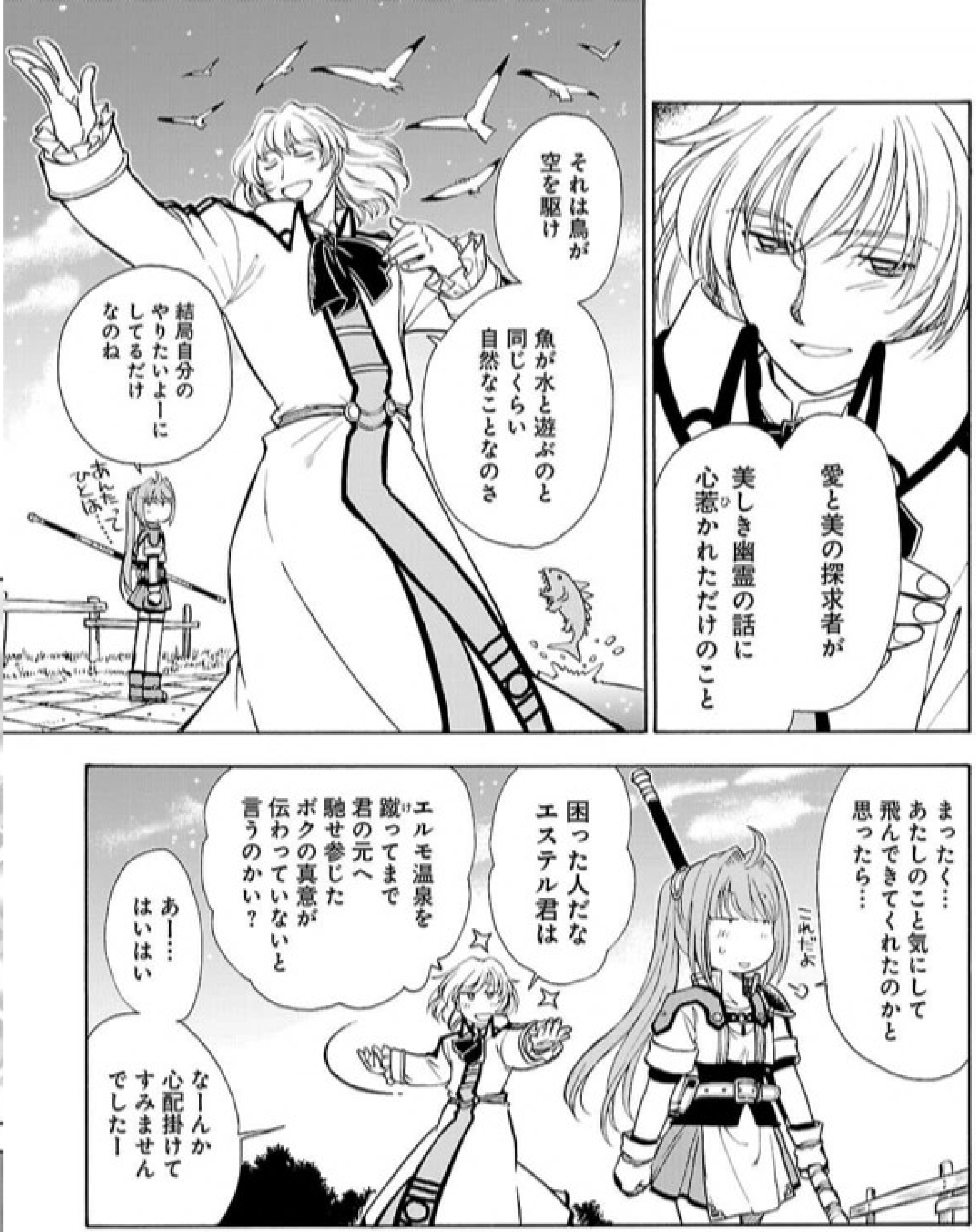

不安で…
たまらないんだわ…
だから…あたし
もう直接会いにいって
この目で正体を確かめてくる!!
それでねジャンさん
知恵を貸してほしいんだけど
なんとかして次に白い影が出てくる場所を予測することはできないかしら?

出現場所さえわかれば
待ち伏せだってできるでしょ!?
昨晩も新たな目撃例があったらしいよ
ここんとこはほぼ毎日のように出現してるみたいだね
協会に報告があった目撃場所は
昨日のルーアン市北街区のホテル上空
同じく南街区の港湾倉庫
エア=レッテンの関所
それからメーヴェ街道沿いのマーシア孤児院…と
一貫性は…ないわよね
それも今ある情報だけじゃあ厳しいかな?
逆にこういう相異点から事件の法則性を導き出せることもあるんだけど
相異点…違うところか…
でもこの白い影…出現場所以外は同じような行動をとってるのよね…

出てくるのは決まって夜で
上空をぐるぐる飛び回った後
北に向かって飛び去ってしまう…
…あ
北東って証言もあるけど…
どっちにしろ北の方向だし…
ちょっと待ってね…
確かポーリィたちも白いオジチャンが飛んでった方角を教えてくれたはず…
「あっちのお空」か…
えっとえーっと……
…孤児院の玄関が南で…
イスとテーブルがこの位置…
右端に座ったポーリィは指をこっちへ指したから
ポン!
この方向は…
東!

ジャンさん!
この違いは何かの手掛かりにならないかしら!?
エア=レッテンから白い影が去った方角は「北」!
ルーアン港の倉庫から「北東」に!
マーシア孤児院からは「東」へ…!
ザッ
「出現場所」と「去った方角」の違いから
導き出せる法則性
それは

白い影の「拠点」！
Magnolia
Ruan
Varenne Lighthouse
The Tower of Saphirl
Azelier Bay
こ…
この場所は
ジェニス王立学園!?
まさか白い影が
王立学園にいるかもしれないなんて…！
冗談じゃないわ
あの学園にはお友達もたくさんいるのに
ならなおさら気合を入れて掛からなくてはね
モチのロンよ！
こんなただの目撃騒動さっさと終わらせてやるんだから！
…で
なんでオリビエまで一緒に来てるのよ？


愛と美の探求者が
美しき幽霊の話に
心惹かれただけのこと
それは鳥が空を駆け
魚が水と遊ぶのと同じくらい自然なことなのさ
結局自分のやりたいよーにしてるだけなのね
あんたってひとは…
まったく…あたしのこと気にして飛んできてくれたのかと思ったら…
これだよ
困った人だなエステル君は
エルモ温泉を蹴ってまで君の元へ馳せ参じたボクの真意が伝わっていないと言うのかい？
あー…はいはい
なーんか心配掛けてすみませんでしたー
全くだ

だが…その姿を見て安心したよ
君が
前向きな気持ちで旅立てたということが
その挑戦的な衣装からもむんむんと伝わってくるからね
ひっ!?
えええええ
いいねぇ
ほころぶことさえ知らずにいた蕾が
ついに己の恋心に目覚め
こうして大輪の花を咲かせようとするまでになるとは
な…
や…

新しい服に変えたのも
そんな乙女の決意の現れなのだろう？
愛しいあの人よ この姿を見…
ばにーん！
わあっ!!
あん
ははは 恥ずかしいこと言わないでよ!!
とても良く似合っているよ♡
オッ オリビエに言われたって嬉しくないんだからっ!!
やれやれ
しからば この上は
一刻も早くヨシュア君に戻ってきてもらわなくては
もぉ！
言われなくてもそのつもり！
行くわよ オリビエ！
待ってくれたまえ

ここがリベール王国を担う若人たちの汗と涙と青春の学び舎
ジェニス王立学園か
エステル君はこの学園に来たことがあるのかい？
うん
学園祭のお手伝いで1週間くらいいただけだけどね
でも本当… すっごく楽しかったな
なるほど
なかなかにすばらしい教育機関のようだ

☆ばあん!
では いざ!
幽霊の探索と今後の参考のため
学園内をくまなく見回ってみるとしよう!
げいん
こらっ! 勝手に中に入るんじゃないの!
どうしよう
むぎ
あ〜ん
誰か知ってる人はいないかしら
ジーク!!
あたしを出迎えにきてくれたの!?
あはは… ありがとね
何言ってんのかわかんないけど…
エステルさん…

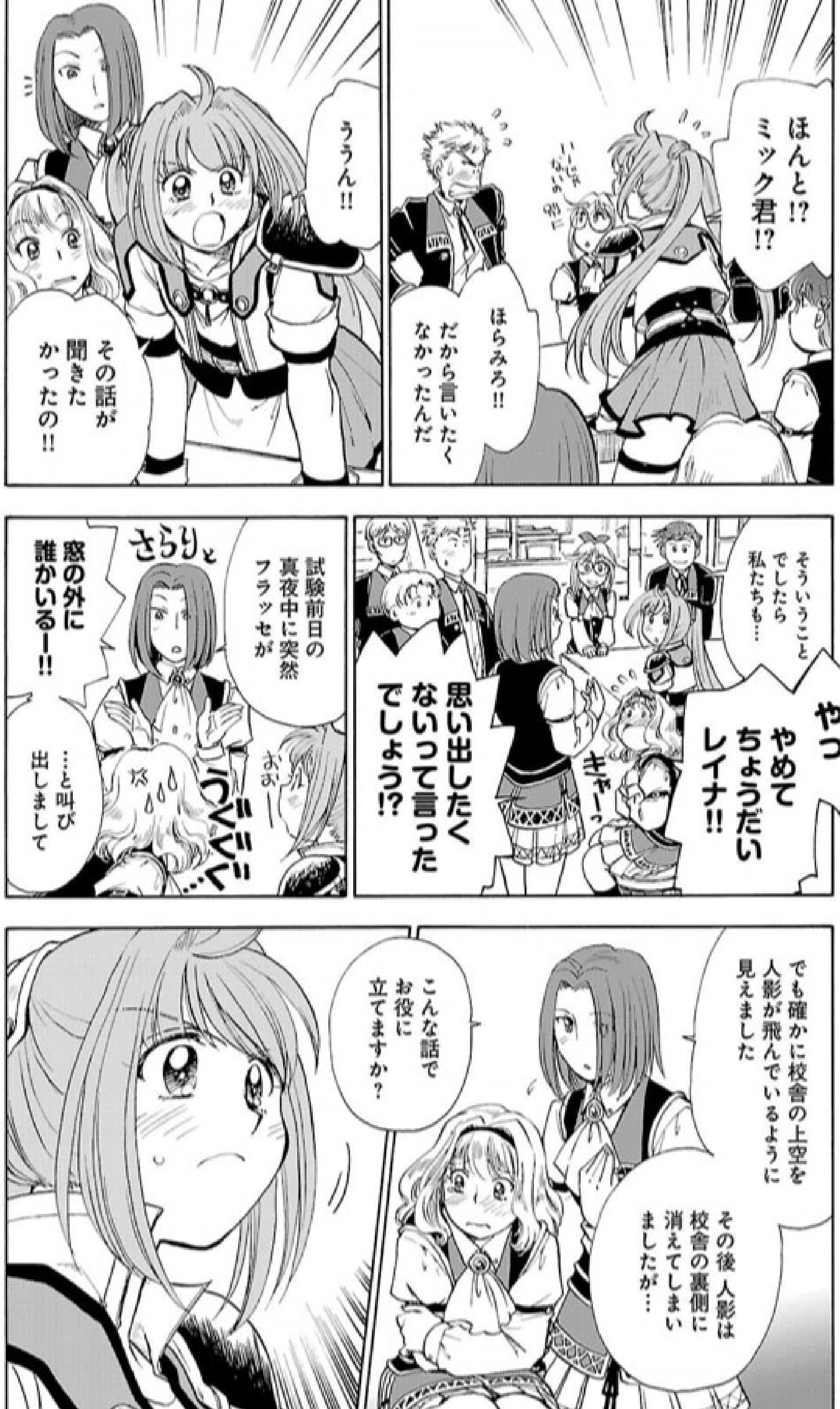
クローゼー!
エステルさん…
きゃ〜!
クローゼー!! 良かったぁ!!
きゃあ!?

え？
エステルさん？
テレサ先生から学園にいるって聞いてはいたんだけどね
ちょっぴり心配だったんだ
あのまま…ずっと王都にいるのかなって思ってたから
もしかしたらもうクローゼとも…
気軽に会えなくなっちゃうんじゃないかって…
…なんてね
元気だった？クローゼ！
エステルさん…
わ!?
ごめんなさいエステルさん
クローゼ!?
え!?
なにが!?
エステルさんと…ヨシュアさんが…
大変な時に…
私…なんにもできなくって…
本当に…ごめんなさい…

…ありがとう！その気持ちだけで十分よ！
でも…
こうして会えただけでもあたしはすっごく嬉しいんだから！
だから…もう泣かないで
ね…？
こら！
あんたが慰められてどーすんのよ
待ってたぞエステル！
よ！
ジル！
ハンス君も！
そんじゃま早速
始めましょっか!!

エステルが仕事で学園に向かってるって遊撃士協会から通信連絡があってね
コリンズ学園長が私たち生徒会に事件の調査協力をするように指示されたのよ
でね あんたが到着するまでの間
「白い影」についてこっちでもざっと調べておいたわ
俺は過去に似たような事件がなかったか資料をあたってみたんだけど
この学園はそういった怪談話にあんまり縁がないみたいだな

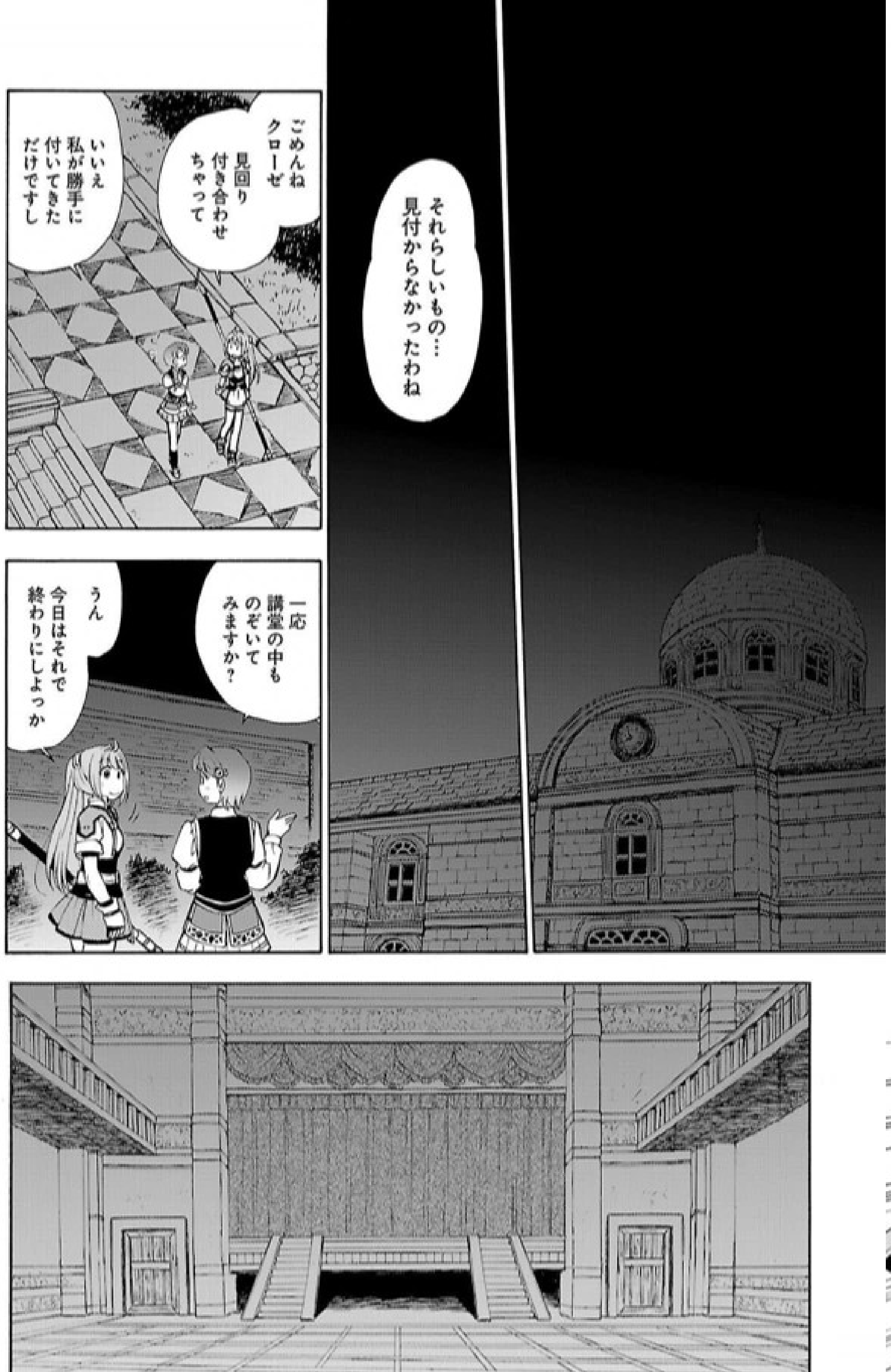
私は実際に目撃情報がないか生徒に聞き込みをしてみたわ
でも…今ジェニスは定期試験の真っ最中でね
みんな勉強に集中してたせいか「白い影」の目撃者は発見できなかったの…
しかし!
そんな中で気になる情報を持っていそうだったのが
この人!!
じゃん!
はあ!?
さあミック君!
張り切って言ってみよー!
だ…だから言っただろ!
人には話したくねぇんだって!
…ガキだと思われるじゃねーかよ
こんな話…
……
裏門の上空を白っぽい人間がふわふわ浮いてた
…なんて…
え?なに!? なに
く…
じーーっ


ほんと!? ミック君!?
ほらみろ!!
だから言いたくなかったんだ
ううん!!
その話が聞きたかったの!!
そういうことでしたら私たちも…
やっ やめてちょうだいレイナ!!
思い出したくないって言ったでしょう!?
キャーっ
さらりと
試験前日の真夜中に突然フラッセが
窓の外に誰かいるー!!
…と叫び出しまして
うぐぐぐ…
おぉー
でも確かに校舎の上空を人影が飛んでいるように見えました
その後 人影は校舎の裏側に消えてしまいましたが…
こんな話でお役に立てますか?

ありがとうみんな！
おかげで確信が持てたわ！
白い影は絶対この学園のどこかに隠れてる!!
え？何？もしかしてこわい話をしているの？
平気！平気！
見た人がこわがったり騒いでるだけで別に実害があるわけじゃないから
わ…私ったらやっぱり大変な物を見てしまったのでは…
こらー!!
おまえらいつまで騒いでるんだ!!
生徒はさっさと寮に戻れ!!
むしろ大変だったのは人影を見た後の方でした
そんなことばらさなくてもいいでしょう!?
すっかりおびえてしまったお嬢様が私のベッドにもぐり込んできて…
きゃあああ
ばんっ
きゃあああ
わああ
ごめんなさい

有力な証言が聞けて良かったですね
ありがとう！みんなのおかげよ！
明日はもう少し情報収集の精度を上げて白い影が隠れてそうな場所を特定してみようぜ！
うん！
隠れてる……か
その表現
私はちょーっと違和感があるのよね
その白い影ってさあちこちで目撃されてるじゃない？
しかも目撃者の前でぐるぐる回ったり挨拶なんかしたり…
どーも人目を避けて隠れてたいって意志が感じられないのよ
むしろ…
逆なんじゃないかしら？

誰かに何かをアピールするために
自ら騒ぎを起こそうとしてるような…
え…?
で…でも幽霊がなんの為に?
さあ…そこまではね
まあ…悪さをする為じゃなければいいんだけど
とにかく今夜は寮で休んで明日から本格的な調査に掛かりましょう
エステルは私たちと同じ部屋に…
ジルたちは先に戻ってて!
あたし…
ひと通り学園を見回ってからにするわ!


それらしいもの…見付からなかったわね
ごめんねクローゼ見回り付き合わせちゃって
いいえ私が勝手に付いてきただけですし
一応講堂の中ものぞいてみますか?
うん今日はそれで終わりにしよっか

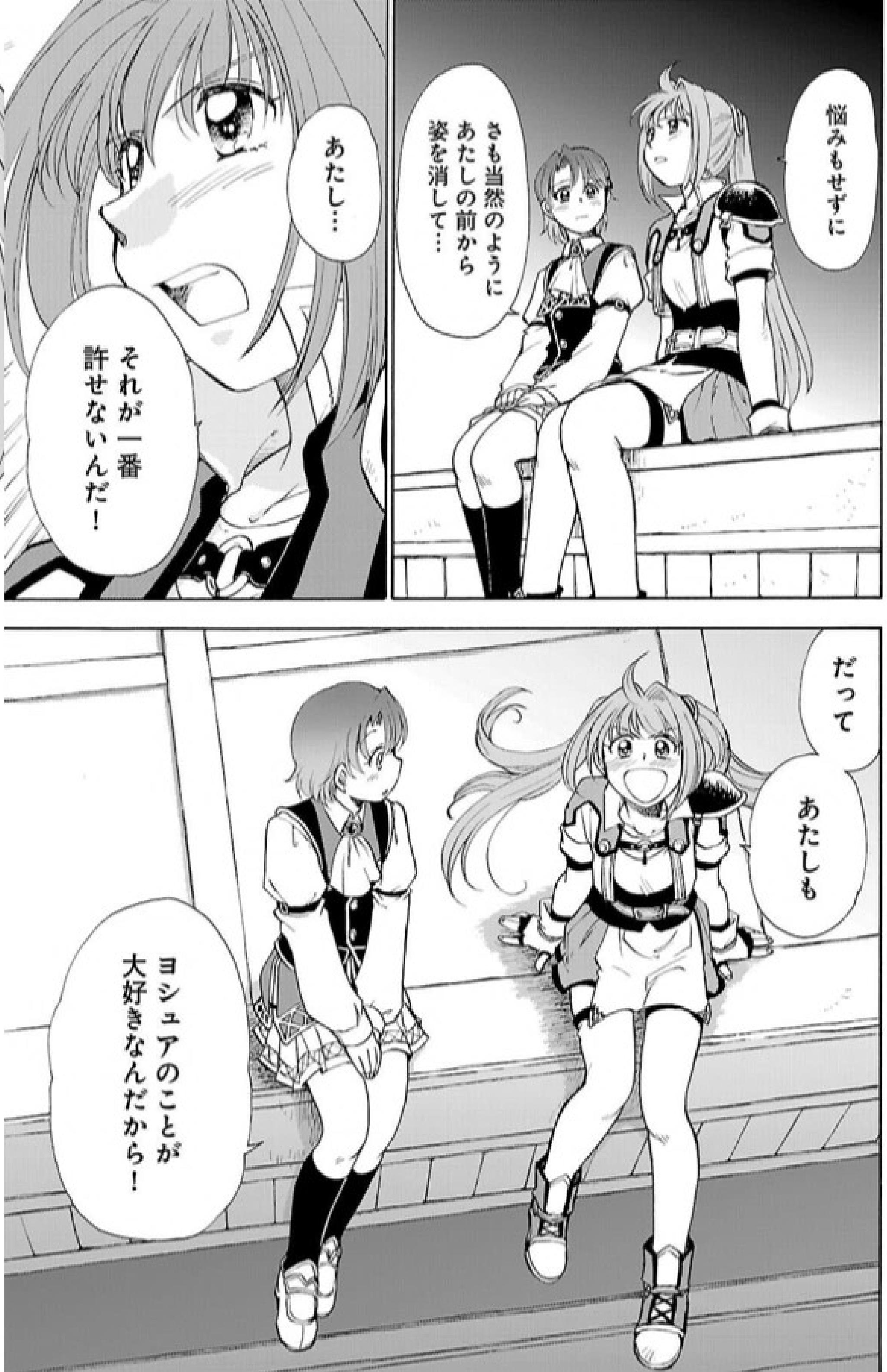
ここに来ると学園祭でやった演劇を思い出すわね！
ええ「白き花のマドリガル」ですね
あたしが貴族の騎士の役で
クローゼは平民の騎士になって
その騎士たちが命を賭けて奪い合うお姫様を
なぜかヨシュアが演じたりして
ふふ…でも劇は大成功でした

ふたりの騎士は舞台に帰ってきたのに
肝心のお姫様はどこに消えちゃったんだろ…
あたしたちをほっぽって…
まあ…
ヨシュアにとってあたしの存在なんてその程度だったってことなんだろーけど…
エステルさん…
ひとつ…白状してもいいですか？

私…
ヨシュアさんが好きでした
ヨシュアさんは…私にない強さを持っていて
私は…そんな彼にずっと惹き付けられていたんです
でもどこか似たところも感じられて…
あ…
そう…なんだ

でもね
私は
ヨシュアさんに惹かれるのと同じくらい
エステルさんのことが大好きだから…
…だから…
ヨシュアさんがエステルさんをどれだけ大切に想っているのか私には…良くわかるんです
ク…クローゼ…
……
…なのに…

エステルさんをおいて…
姿を消してしまうなんて…
きっと…
誰よりも
何よりも
あなたのそばを離れたくなかったはずなのに…
ヨシュアさんって本当に強い人ですよね…
私なんて…足元にも及ばない…
うん…
確かにヨシュアは強いよ…
え？
でも…それは間違った強さだと思う
クローゼはさ大事な何かを決める時って
ちょっと…ドキドキしたりしちゃわない？
それが…自分にとってすっごく大切なことだったら
なおさら
だけど
ヨシュアは悩まなかった
躊躇したり悩んだり…
そういうのってあたりまえのことだと思うんだ


悩みもせずに
さも当然のように
あたしの前から
姿を消して…
あたし…
それが一番
許せないんだ!
だって
あたしも
ヨシュアのことが
大好きなんだから!

もちろん
クローゼも
そうでしょう!?
え?
……
あ…
そ…
そう…
ですね…
お…っ
女の子の
気持ちを
なんだと思って
いるのかしら!?
ねーっ!?
さっさと
連れ戻して
説教のひとつも
してやらないと
気がすまない
わよね!!
ちょっと…
許せません
よね…!
ええ!!
まったくもって
その通りです!!

ぷーァ。
あはは！
行こ！クローゼ！
明日から本格的に
白い影の捜索を…
はい!!
あれ…？
今…
何か…
見えなかった…？

あっ!!
■つづく■

英雄伝説
THE LEGEND OF HEROES
空の軌跡
TRAILS IN THE SKY
SECOND CHAPTER
SC

漫画 啄木鳥しんき
Kitsutsuki Shinki
原作 日本ファルコム
Nihon Falcom Corp.

英雄伝説
THE LEGEND OF HEROES
空の軌跡
TRAILS IN THE SKY
SECOND CHAPTER
SC

英雄伝説
THE LEGEND OF HEROES
空の軌跡
TRAILS IN THE SKY
SECOND CHAPTER
SC
①
電子版オマケ

本電子書籍の「電子版オマケ」画像は、底本のカバー・表紙・帯・奥付などに掲載されていたイラスト、漫画などをまとめて収録したものです。

電子版オマケ②

電子版オマケ③

電子版　ファミ通クリアコミックス

英雄伝説
空の軌跡SC（1）

漫画／啄木鳥しんき

原作／日本ファルコム

2014年12月15日電子版ver.1.0発行

発行人　青柳昌行
発行　株式会社KADOKAWA
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
電話　0570-060-555（ナビダイヤル）
http://www.kadokawa.co.jp
企画・制作　エンターブレイン
デザイン　浜崎正隆（ナルティス）

©Nihon Falcom Corporation. All rights reserved.
©2014 Kitsutsuki Shinki

本電子書籍はファミ通クリアコミックス『英雄伝説 空の軌跡SC（1）』
（2014年12月26日発行　初刷）を元にして制作しております。

＊本作品の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信したり、ウェブページ上に転載することを禁止します。また、本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。本作品は電子端末での閲覧に向くよう、一部デザイン等を変更しております。あらかじめご了承ください。

電子版オマケ④